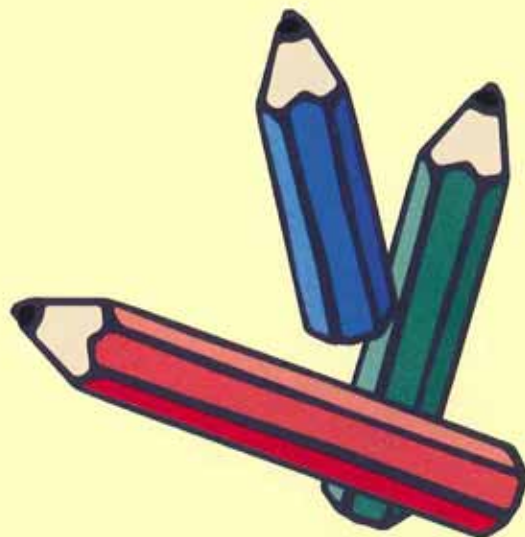


# 消費者教育授業 実践事例集

—消費者教育の視点を持った授業展開—

平成20年3月



平成19年度 柏市消費者教育推進連絡会

この1年の消費者教育を振り返って  
—柏市消費者教育推進連絡会活動に寄せて—

柏市消費生活センター  
所長 鈴木 宏 晶

先ず、今年度の消費者教育に携わったすべての先生方に心からお礼を申し上げます。6月29日の第1回の連絡会を起点として、お忙しい中、授業実践など様々にかかわりをいただきありがとうございます御座いました。

本年度は、私ども柏市消費生活センターにとってもある意味「金銭教育—お金の大切さ—」に揺れた1年でした。と申しますのは、平成18年12月に内閣府金融庁が、今の多重債務者の悲惨な状況（平成17年経済生活問題による自殺者約7,800人、10年前の平成7年2,800人）から「多重債務問題対策本部」を立ち上げ本格的な対策に乗り出し、これを受け本年度から全国の都道府県、市においても関係する各課による横断的な体制づくり、さらに、弁護士会などとの連携に因って無料相談会を実施するなど具体策を講じて参りました。

このような中で、債務者の状況をみますと不況・倒産など社会的な要因によるものの他、個人の資質が原因となった借財も多く、若年層からの「お金」に関する教育なり養育が如何に重要であるかを再認識し、改めて、私どもの消費者教育に掛ける方向性が正しかったものと確信いたしました。

また、この様な金銭問題に限ることなく近年の「食品偽装、農薬混入」などの各事件を受け、大きな視点から、今改めて消費者行政の重要性が叫ばれております。国（消費者行政推進会議）、自民党（消費者問題調査会）も消費者保護の充実に向けた行政の一元化への組織の組み直しの検討に着手しており、間もなくその回答が示されるものと思われます。

柏市消費生活センターといたしましても、この様な消費者保護の意識の高まりの中、今後も消費者教育を事業の大きな柱としてとらえ、内容をより充実させ、発展させていきたいと考えております。その意味で本実践記録は次年度以降、今後の事業（授業）展開に役立つものと自負しており、活用して頂きたいと存じます。

最後に市内各校、各先生方には、今後も引き続き当連絡会活動と消費者教育の充実にお力添えを頂きたいとお願い申し上げます。

## 消費者教育の更なる推進を

柏市教育研究所

所長 山田 伸 明

近年、経済社会の複雑化、多様化が進む中で、若年者の消費生活に関するトラブルが急増しており、その解決策として、学校教育における消費者教育への期待がより一層高まってきております。

消費者教育とは、消費生活に関して自ら進んで必要な情報や知識を収集・修得し、自主的かつ合理的に行動できる消費者を育成することです。こうした消費者教育を効果的に推進するため、内閣府及び関係省庁においては、消費者が身につけるべき目標を体系化し、安全、契約・取引、情報、環境という領域ごと及び学習者のライフステージごとに設定する取組がなされてきました。

今後、その体系化の中で設定された目標を達成するための具体的な取組の充実が重要となってきます。具体的には、消費者教育における教材や学習プログラムの開発、人材活用の推進が求められております。

平成17年、消費者基本法に基づき策定されました「消費者基本計画」では、消費者政策の重点として、「学校教育や社会教育における消費者教育の推進」を定め、消費者教育の推進体制を強化する必要があると述べております。また、これに関連した具体的施策として、「消費生活センターと教育委員会との連携強化」が盛り込まれております。

柏市では、それに先駆けて消費者教育推進連絡会が組織され、消費生活センターと教育委員会、そして各学校と連携協力し、消費者教育の推進を図ってまいりました。特にその中で、消費生活センターによる消費者教育出前授業「子ども消費者教室」やパンフレットなどの教材は、学校教育における消費者教育のニーズに応じた内容に随時、工夫改善され、多くの学校で取り入れられ、活用されてきております。

今年度は、さらに、小・中・高等学校にわたって、各教科等における消費者教育の授業実践に重点を置いて取り組んで参りました。

本実践事例集は、消費者教育推進連絡会委員による授業実践等を取りまとめ、消費者教育推進の方向性を示したものとなっております。

各学校におかれましては、この実践事例集を参考にし、消費者教育についての理解を深め、創意工夫した取組がより一層推進されていくことを期待いたします。

平成19年度柏市消費者教育推進連絡会委員

座長	山田 伸明	柏市教育委員会	教育研究所所長
	池田 一美	柏市教育委員会	指導課指導主事
	石井 敦子	柏市立柏第一小学校	教諭
	中村 智子	柏市立柏第五小学校	教諭
	小磯 綾子	柏市立酒井根小学校	教諭
	高城 理子	柏市立酒井根西小学校	教諭
	石井 泰子	柏市立高柳西小学校	教諭
	岩田 久美	柏市立田中小学校	教諭
	須田 光明	柏市立田中中学校	教諭
	横山 礼子	柏市立富勢中学校	教諭
	細谷 淑子	柏市立柏高等学校	教諭
	越 朋美	麗澤中学・高等学校	教諭
事務局	鈴木 宏晶	柏市消費生活センター	所長
	和島 行男	同	主幹
	橋爪 良洋	同	主査
	泉水 りな子	同	消費者教育相談員



(2) 中学校における授業展開

○「契約・取引」領域

- ・ 3 学年（家庭科）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 4

私たちの消費生活と環境

柏市立富勢中学校 教諭 横山礼子

- ・ 3 学年（社会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 1

消費者の権利と保護

柏市立田中中学校 教諭 須田光明

(3) 高等学校における授業展開

○「契約・取引」領域

- ・ 1 学年（家庭科）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 2

消費行動を考える（消費者として自立する）

柏市立柏高等学校 教諭 細谷淑子

3. 柏市消費生活センター 「子ども消費者教室」

・・・・・・・・ 6 8

## 1. 学校における消費者教育の推進について

## （１）消費者教育の体系化

平成16年6月消費者基本法が制定され、「消費者の権利の尊重」と「消費者の自立支援」が消費者政策の基本理念とされました。消費者政策の計画的な推進を図るための消費者基本計画の中で、消費者が自立できるための消費者教育の展開が重点項目の1つとして位置づけられました。

このような中で、消費者教育を効果的に推進する観点から、内閣府及び関係省庁において消費者教育の体系的推進について協議されました。消費者教育体系化のための調査研究の下、その枠組みが「体系シート」として示されました（資料1）。本シートは平成17年度に内閣府の事業により作成されたもので、「消費者教育体系化のための調査報告書」から抜粋したものです。今後は、体系化の中で設定された教育目標を達成するための具体的な取り組みの強化が重要視されてきています。

## （２）柏市消費者教育推進連絡会の取り組み

近年の消費者トラブルは、複雑化しており、児童生徒が被害者または加害者になるトラブルに巻き込まれる例も少なくありません。この実態に鑑み、柏市では様々な消費者教育事業を展開しています。

その核となるのが平成3年度に設置した柏市消費者教育推進連絡会です。本連絡会は、教育委員会及び小・中・高等学校教員で構成し、学校における消費者教育の推進を図っています。

これまで連絡会では、消費者教育の理解を深めるため、教員を対象に消費者教育に関する研修や情報提供を行い、学校を支援してまいりました。

そして、平成19年度は上記の支援を有効に活用し、消費者教育のさらなる推進を図るため、各委員による消費者教育の視点を持った授業実践を行うこととなりました。実践にあたっては、「資料1 消費者教育の体系シート ―ライフステージに応じた領域別目標―」を参照しました。

この実践を通して、私たちの生活を取り巻く課題そのものが消費者教育の教材となりうることが分かりました。また、指導する先生方が消費者教育の視点を持って授業展開するだけでも、消費者教育の理念である「自立した消費者」の育成に効果があることが分かりました。

この実践を今後の消費者教育の事業（授業）展開の基礎資料となるよう、本書にとりまとめ、消費者教育の更なる推進に取り組んでいきたいと考えています。



◆消費者教育の理念：「自立した消費者」をめざして

目標①：消費生活に関して、自ら進んで必要な知識を修得し、必要な情報を収集する等自主的かつ合理的に行動できる消費者の育成  
目標②：消費生活に関して、環境の保全と知的財産権等の適正な保護に配慮する消費者の育成

領域別目標	安全		契約・取引		情報		環境	
	安全	契約・取引	情報	環境	情報	環境	情報	環境
ライフステージ	<p>①商品（食品を含む）に関する情報を確認し、生命・健康への影響に配慮して、商品を選択・利用することができる。</p> <p>②商品による事故・危害に適切な対処ができる。</p> <p>③安全に暮らせる社会を目指し、消費者の安全を確保するために協力して取り組むことができる。</p>	<p>①自己の必要性を満たすために、適切に判断し、合理的な選択ができる。</p> <p>②家計を適切に管理し、合理的な生活設計やお金の使い方ができる。</p> <p>③契約の意味・内容や契約上の権利と義務を理解し、契約を誠実に履行できる。</p> <p>④トラブルにあったときに適切な対処ができるように、安心して契約・取引ができる社会を目指し、協力して必要に取り組むことができる。</p>	<p>①商品の購入段階において、商品の環境に関する情報を確認し、環境への影響に配慮した商品を選択できる。</p> <p>②商品の使用・廃棄段階において、物を大切に適切に対処ができる。</p> <p>③持続可能な社会を目指し、消費生活に関わる環境保全の取り組みに協力して取り組むことができる。</p>	<p>①身近な人に健康や痛みを伝えることができる。</p> <p>②身近な人に被害を知らせることができる。</p> <p>③身近な人に被害を知らせることができる。</p> <p>④身近な人に被害を知らせることができる。</p>	<p>①身近な人に被害を知らせることができる。</p> <p>②身近な人に被害を知らせることができる。</p> <p>③身近な人に被害を知らせることができる。</p> <p>④身近な人に被害を知らせることができる。</p>	<p>①身近な人に被害を知らせることができる。</p> <p>②身近な人に被害を知らせることができる。</p> <p>③身近な人に被害を知らせることができる。</p> <p>④身近な人に被害を知らせることができる。</p>	<p>①身近な人に被害を知らせることができる。</p> <p>②身近な人に被害を知らせることができる。</p> <p>③身近な人に被害を知らせることができる。</p> <p>④身近な人に被害を知らせることができる。</p>	<p>①身近な人に被害を知らせることができる。</p> <p>②身近な人に被害を知らせることができる。</p> <p>③身近な人に被害を知らせることができる。</p> <p>④身近な人に被害を知らせることができる。</p>
幼児期	<p>①安全な物を遊ぶことができる。</p> <p>②身近な人に健康や痛みを伝えることができる。</p> <p>③身近な人に被害を知らせることができる。</p> <p>④身近な人に被害を知らせることができる。</p>	<p>①身の回りの商品を買ったときに、必要に応じて価格や品質を比較することができる。</p> <p>②身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>③約束や法まじり事を守る習慣が身につく。</p> <p>④身の回りの物の購入に不安を感じない。</p>	<p>①身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>②身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>③身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>④身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p>	<p>①身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>②身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>③身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>④身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p>				
児童期（小学生）	<p>①商品の安全性を確認し、危険な商品に注意することができる。</p> <p>②商品の安全性を確認し、危険な商品に注意することができる。</p> <p>③商品の安全性を確認し、危険な商品に注意することができる。</p> <p>④商品の安全性を確認し、危険な商品に注意することができる。</p>	<p>①身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>②身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>③身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>④身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p>	<p>①身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>②身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>③身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>④身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p>	<p>①身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>②身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>③身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>④身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p>				
少年期（中学・高校生）	<p>①商品の安全性を確認し、危険な商品に注意することができる。</p> <p>②商品の安全性を確認し、危険な商品に注意することができる。</p> <p>③商品の安全性を確認し、危険な商品に注意することができる。</p> <p>④商品の安全性を確認し、危険な商品に注意することができる。</p>	<p>①身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>②身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>③身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>④身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p>	<p>①身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>②身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>③身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>④身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p>	<p>①身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>②身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>③身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>④身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p>				
成人期	<p>①商品の安全性を確認し、危険な商品に注意することができる。</p> <p>②商品の安全性を確認し、危険な商品に注意することができる。</p> <p>③商品の安全性を確認し、危険な商品に注意することができる。</p> <p>④商品の安全性を確認し、危険な商品に注意することができる。</p>	<p>①身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>②身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>③身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>④身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p>	<p>①身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>②身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>③身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>④身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p>	<p>①身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>②身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>③身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>④身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p>				
高齢期	<p>①商品の安全性を確認し、危険な商品に注意することができる。</p> <p>②商品の安全性を確認し、危険な商品に注意することができる。</p> <p>③商品の安全性を確認し、危険な商品に注意することができる。</p> <p>④商品の安全性を確認し、危険な商品に注意することができる。</p>	<p>①身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>②身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>③身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>④身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p>	<p>①身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>②身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>③身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>④身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p>	<p>①身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>②身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>③身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p> <p>④身の回りの商品の購入に不安を感じない。</p>				

【備考】 (1) 本体系シートは、消費者教育の全体像・体系的関係を共通するよう、対象領域ごとのライフステージに応じた消費者教育の目標を示したものです。  
(2) 消費者教育シートに、消費生活に関する実践力を身に付ける必要があることから、「身近な人に被害を知らせる」「身の回りの商品」「日常および社会生活の中で利用する商品」などとして、消費者としての発達、消費生活で接する商品の広がりを経験してきています。  
(3) ライフステージに応じた実践力を身に付ける必要があることから、「身近な人に被害を知らせる」「身の回りの商品」「日常および社会生活の中で利用する商品」などとして、消費者としての発達、消費生活で接する商品の広がりを経験してきています。  
(4) 高齢期を四角で囲っているのは、社会人の中で特に高齢者に対して設けた目標を示しているためです。

## 2. 消費者教育の視点を持った授業展開

(1) 小学校における授業展開

○「契約・取引」領域

・2学年(道徳)

教材名	ホシガリ姫の冒険	
実施校	柏市立高柳西小学校	
学年/教科等	2学年	教科等：道徳
指導者	教諭 石井 泰子	
総授業数	1時間	

### 1. 単元について

#### (1) 設定の理由

子どもたちは、2年生になり、小学校にも慣れてきて、友達が持っている物をほしくなって買ってもらったり、まだ使える物でも新しい物をねだったりするなど、物やお金を大切に使用していない様子が見られるようになってきた。そこで、物やお金はどのように使ったらいいのかを考え、大切にしようという態度を育てたいと考え、この単元を設定した。

#### (2) 目標

むだ遣いをせずに、物やお金を大切にしようとする態度を育てる。

### 2. 指導計画(1時間)

物やお金の使い方を考える・・・・・・・・・・・・・・1(本時)

### 3. 本時

#### (1) 目標

むだ遣いをせずに、物やお金を大切にしようとする態度を育てる。

#### (2) 消費者教育の視点

お金は、家の人労働によって得た貴重な物であり、使えばなくなっていくものである。むだ遣いをせずに、物やお金を大切に使う態度を育てる。

### (3) 展開

時配 (分)	指導内容・学習活動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備考
5	1、物やお金をむだ遣いしてしまった経験について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ使える物なのに新しい物を買ってもらったり、友達が持っているからと言って、買ってもらったりしたことはないか思い起こさせる。</li> </ul>	
10	2、ビデオ「ホシガリ姫の冒険」の前半を見て話し合う。 ① どうして、カトリーヌは魔法をかけられてしまったのだろう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・むだ遣いをしていたから。</li> </ul> ② カトリーヌは、どんなふうにお金を使っていたらろう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほしい物をどんどん買っていた。</li> <li>・飽きたら、倉庫にしまっていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■カトリーヌのようにしていたら、お金はどうなっていくか考えさせる。</li> <li>◎カトリーヌのお金の使い方について発表できたか。</li> </ul>	ビデオ
15	3、ビデオの後半を見て話し合う。 ① ジャンたちのお金の使い方は、カトリーヌとどう違うだろう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・もらったお金をいっぺんに使わない。</li> <li>・お金を貯める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■もらったお金をいっぺんに使わないこと、必要な物を買うことなどお金は大切な物であることに気づかせる。</li> <li>◎ジャンたちのお金の使い方とカトリーヌのお金の</li> </ul>	

3 10 2	<p>②カトリーヌは、どうしてお城に戻れたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金を大切に使うことができるようになったから。</li> </ul> <p>4、ビデオの終末を見る。</p> <p>5、自分たちの生活の中で、できることを考え、ワークシートに書く。</p> <p>6、先生の話（体験談）を聞く。</p>	<p>使い方の違いに気づいたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物やお金を大切に使うとする心情が育ったか、子どもたちの様子から観察する。</li> </ul> <p>◎自分たちの生活の中でできることをワークシートに書くことができたか。</p>	ワークシート
--------------	--	--	--------

## 4. 実践報告

### (1) 児童生徒の様子・変容

小学2年生の子どもたちにとって、ビデオの内容が合っているか不安であったが、幼稚すぎるということもなく、発達段階にちょうど合っており、真剣に見ていた。自分たちも主人公のカトリーヌのように、「あれもほしい、これもほしい。」とわがままを言うことがあり、共感できる部分があったのだと思われる。また、いくつかの場面でビデオを切り、話し合いを入れることによって、場面ごとの課題を子どもたちは、主人公を通して考えている様子が見られた。終末では、今までの自分の物やお金の使い方について、振り返ることができていた。

### (2) 成果と課題

#### ① 成果

- ・自分たちの発達段階に合っている内容であったので、主人公を通して、消費者としての物やお金の使い方を考えることができた。

- ・授業参観日に道徳として、消費者教育を実施したので、学校と家庭で指導していくべき内容が明確にできた。
- ・授業参観後の懇談会では、「普段から、物を大切にするという話はしているが、あまり効果はなかった。今日の授業を話題に出して家庭でもしていきたい。」など、各家庭からも積極的な意見を聞くことができた。



○授業の様子

## ②課題

小学2年生の子どもたちは、まだ定期的にこづかいをもらっている子は少なく、自分だけで買うということはありません。しかし、家庭によっては、お金を持って遊びに行く子もおり、家庭環境や親の考えも異なる子どもたちを指導する時、難しさを感じることもある。

## (3)使用教材・資料等

ビデオ教材「ホシガリ姫の冒険」（金融広報中央委員会）

## 資料「感想シート」

子どもたちの感想からは、授業を通して今までの自分の生活を振り返り「お金の大切さ」に気づいたことがわかる。

☆きょうのべんぎょうで思ったことを  
書きましょう。

おかねは、  
たいていにつかあらないと  
いけないうんたなーとおも  
いました。あたしはジャ  
ンとおなじで、ためて  
いるか、前におかあや  
んにサレを、おねえちゃん  
んといっしょにお金を  
だしたってかたこと  
思いました。

☆きょうのべんぎょうで思ったことを  
書きましょう。

カトリーヌはお金をむだづかいして  
いたけど、ジャンのを見てお金を  
ためていました。  
ぼくもお金をためていいものを買  
たいです。  
ぼくは、おかしやおもちゃではなくて、自  
分にやくだつようなものを買いたい  
です。お金をむだづかいしたくないです。

#### (4) 教育委員会から

小学校2年生では、道徳に「物や金銭を大切に、・・・」という内容があり、消費者教育にかかわる学習を見直すことができます。社会科や家庭科、総合的な学習の時間がない学年であっても、消費者教育にかかわっている内容はどの学年にもあるということです。

本授業では、ビデオ『ホシガリ姫の冒険』を前後半に分けて活用し、その後、その話の終末を最後に見るという展開が効果的です。道徳では、児童の心に響く資料の選定が大切となりますが、消費者生活センターで借りることができるこのビデオ教材は、低学年に適していると考えられます。

導入で自分の経験に触れ、終末で自分たちの生活の中でできることを考えさせていくことは、道徳的实践力を育成していく上で大切なことです。

教師の体験談は、児童の心情に訴え、深い感銘を与えることができるものとなりました。

#### (5) 消費生活センターから

本実践は、消費者教育体系シートによると「契約・取引」領域にあたります。

本時の展開は消費者教育の視点を、「お金を大切に使う態度を育てること」としています。金銭の扱いは消費生活に係る基礎的な学習です。低学年の早い段階からお金について客観的に認識する機会を与えることができたのは有効であると思います。

道徳教育の内容には「物や金銭を大切に」にすることが含まれており、消費者教育と密接に関係する部分です。

## ・ 4 学年（道徳）

主 題 名	自立・節制 「生きたお金、死んだお金」 お金の使い方を考えよう	
実 施 校	柏市立柏第一小学校	
学 年 / 教 科 等	4 学年	教科等：道徳
指 導 者	教諭 石井 敦子	
総 授 業 数	1 時間	

## 1. 主題について

## (1) 設定の理由

親子二代にわたって、生まれたときから物質的に恵まれた社会環境の中で育ってきた今の子どもたちにとって、ものが豊かなことは当たり前と行っていいのかもしれない。欲しいものを我慢するという経験に乏しく、自分の持ち物に愛着が薄い子も少なくない。片づけることが苦手な子や落とし物に無頓着な子が増えているのも、持ち物が多いことと無縁ではないように思われる。特に、中学年になり、友達関係も活動範囲も広がってくるにつれて、直接お金に関わる気になる行動も目に付くようになってきた。例えば、なかよしの友達とおそろいの文具が欲しいために、すでに別のものを持っているのに友達と連れだって買いに行くとか、何人かの友達同士で日を決めて文房具の交換をするとか、高額な外国産の昆虫や爬虫類などのペットをいくつも親にねだって買ってもらうなどのことである。

本時では、まず欲しいものと必要なものの違いに目を向けさせたい。消費行動には、各家庭の環境や考え方が大きく関わっているのも、一概に是非を判断できないという難しさはあるが、児童一人ひとりが自分が欲しいと思っているものが本当に必要なものなのかどうか振り返り、必要性を考えてお金を使うことの大切さに気づかせたい。また、どのような使い方をすることがお金を生かすことなのか、各々が考えていくきっかけ作りをしたいと考える。



## (2) 目標

- ・ 欲しいものと必要なものの違いに気づき、必要性を考えて有効にお金を使うことの大切さがわかる。
- ・ お金の大切さを知って、お金をよりよく活用しようという気持ちを持つ。

## 2. 指導計画

お金の使い方について考えよう。・・・・・・・・・・1 (本時)

## 3. 本時

### (1) 目標

- ・ 欲しいものと必要なものの違いに気づき、必要性を考えて有効にお金を使うことの大切さがわかる。
- ・ お金の大切さを知って、お金をよりよく活用しようという気持ちを持つ。

### (2) 消費者教育の視点

- ・ 欲しいものと必要なものの区別ができる。
- ・ お金の使い方を通じて節度ある生活の大切さに気づき、実践しようとする。

### (3) 展開

時配 (分)	指導内容・学習活動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備考
10  5  20	<p>お金の使い方について考えよう。</p> <p>1、今欲しいものを書き出す。</p> <p>2、書き出したものの中で、生きていくためや学習するために必要だと思うものを丸で囲む。</p> <p>3、どんなものに○をつけたか、なぜ必要だと思うかを発表する。</p> <p>4、100円未満のお金を得るために働いている同年代の子どもたちのことや、井戸を作るために募金活動をした日本の小学生のことを知る。</p>	<p>*お金で買えるものに限ることを確認する。</p> <p>*欲しいものと必要なものを区別する。</p> <p>■欲しいものと必要なものが必ずしも同じではないことに気づく。</p> <p>◎ほしいものと必要なものを区別できたか。(ワークシート、発表)</p> <p>*「ふたり☆おなじ星のうえで」、「世界から貧しさをなくす30の方法」の内容を紹介する。</p>	<p>ワークシート</p> <p>本 写真 を 拡大 した もの</p>
10	<p>・今日の学習についての感想を書き発表する。</p>	<p>■必要性を考えて有効にお金を使うことの大切さに気づく。</p> <p>■お金の使い方を通じて節度ある生活の大切さに気づき、実践しようとする。</p> <p>◎必要性を考えて有効にお金を使うことの大切さに気づくことができたか。(ワークシート、発表)</p>	<p>ワークシート</p>

## 4. 実践報告

### (1) 児童生徒の様子・変容

欲しいものを書き出す作業は、書きさえすれば手にはいるかのように、夢中になって書いている子が多かった。反面、なかなか書けない子もいて、欲しいと思う前にいろいろなものを与えられている子どもたちの現実に触れたような気もした。

取り上げた事例がどれも同年代の子どもたちのことであり、一人については写真もあったので、印象が強く、少なからずショックを受けたようだった。いつになく真剣に話を聞いている様子に、「事実」の持つ説得力を感じた。ワークシートの右側に、その子どもたちや子どもたちの住む国にお金やものを寄付したいと書いた子が約3割、よく考えてからものを買ったり買ったものを大切に使うことがお金を生かすことなのだという内容を書いた子が6割ぐらいいた。自分たちが物質的に恵まれていることに初めて気づいた子、洋服もチョコレートも安い方がいいけれど、ラマデビたちの暮らしをよくするためなら少しくらい高くても「協力できる」と書いた子もいた。貧しさに同情的な子が多い中で、ラマデビやコーヒーこそお金を生かしてすごいと書いた子が数人いて意外でもあった。

授業後、目に見えてものを大切にするようになったり、欲しいものを我慢するようになったりというわけではないが、給食の残さが多いと気にするようになったり、こづかい帳をつける子が増えたり、少しずつ意識が変化していることは感じられる。

### (2) 成果と課題

#### ① 成果

- ・ 社会科や総合的な学習で学んできたエコロジーについての学習と、意識の中で自然な形で結びつき、お金とリユース・リデュース・リサイクル等を一連のまとまりの中で考えることができた。
- ・ 自分たちの消費活動と世界がつながっていることに改めて気づき、視野が広がった子が多かった。

## ② 課題

発達段階的に、親の選んだものに飽きたらず、自分で選んだものを自分で買いたいという欲求が出てくる年代であるにもかかわらず、4年生の道徳の主題の中に、お金やこづかいを直接的に扱ったものはない。指導要領の「1－(1)自立・節制」を主題とする指導内容として、副読本で「チェック、チェック、チェック」という資料が取り上げられていて、15の項目にわたって二択で自分の生活を振り返るようになっている。その項目の一つに、「ほしいものがあったら？(ア)がまんして少し考える(イ)すぐほしくて買う」というものがあり、指導書に他の項目より大きく取り上げた指導例が出ていたことから、かなりこじつけて道徳での扱いにしてしまったが、やはり総合的な学習の中で数時間かけて扱うべき内容だったかと思う。洋服の原料や食料がどこからきているのか子どもたちの手で調べたり、実際に綿花を育てたりする中で、今回扱ったような内容がもっと実感を持って理解され、よりよい消費活動の実践にもつながっていくのではないだろうか。ただ、世界を視野に入れた展開になることを考えると、4年生よりは5・6年生での扱いの方がふさわしいかもしれない。

### (3) 使用教材・資料等

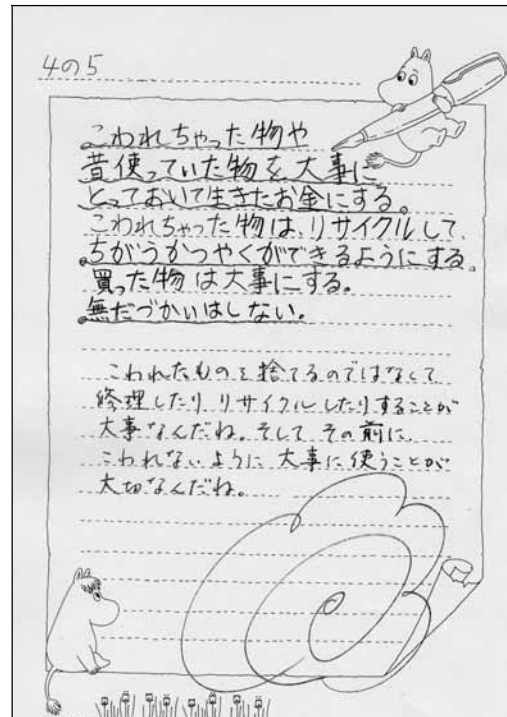
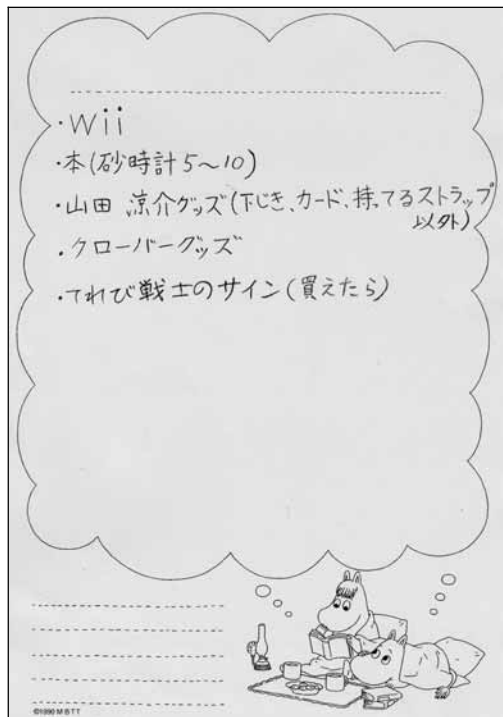
#### ○資料1 授業で使用した書籍

- ・「ふたり☆おなじ星のういで」 ・「世界から貧しさをなくす30の方法」  
 (写真：谷本美加 絵：塚本やすし (田中優 樫田秀樹 マエキタミヤコ 編  
 文：谷川俊太郎 東京書籍) (合同出版)

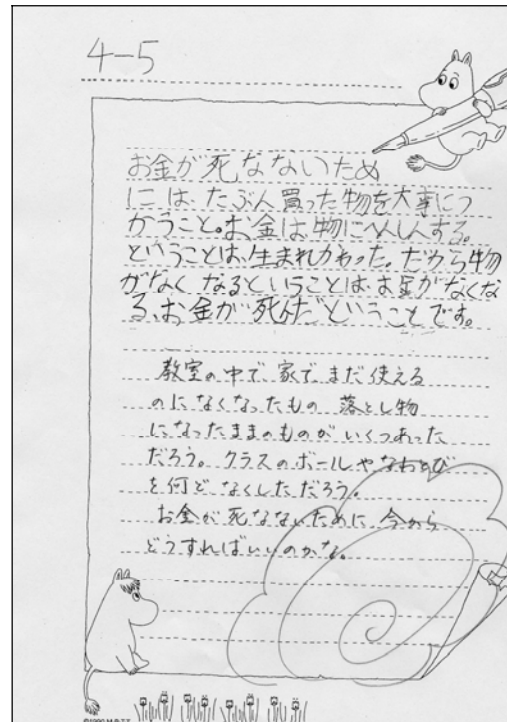
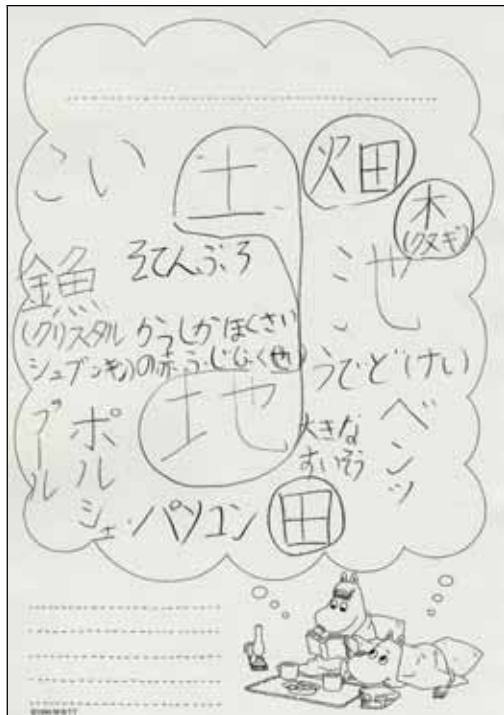


#### ○資料2 ワークシート

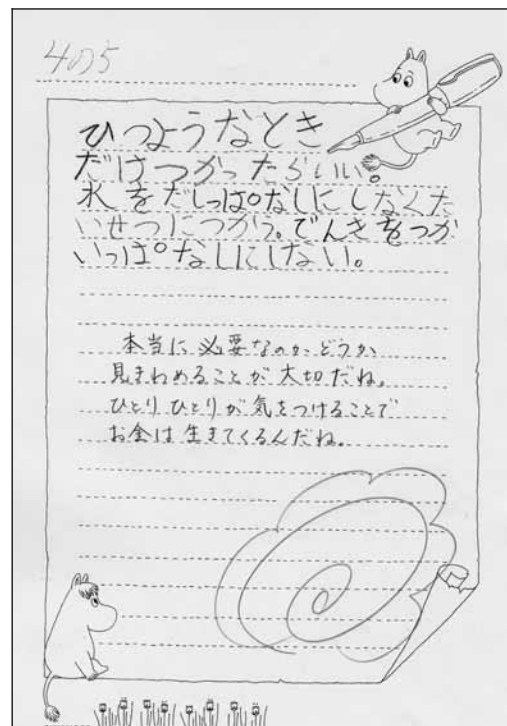
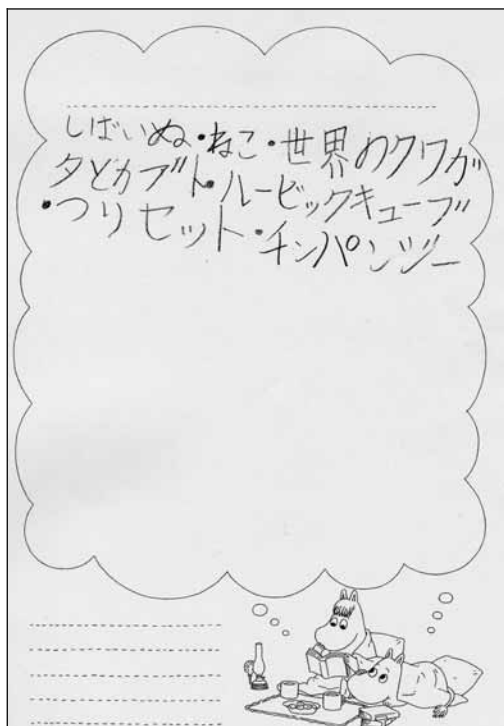
A児 女子 欲しいものが必ずしも必要なものではないことに気づいている。



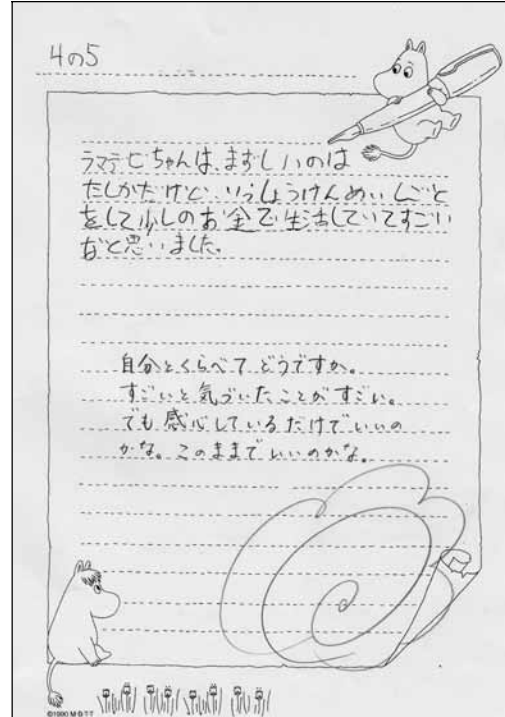
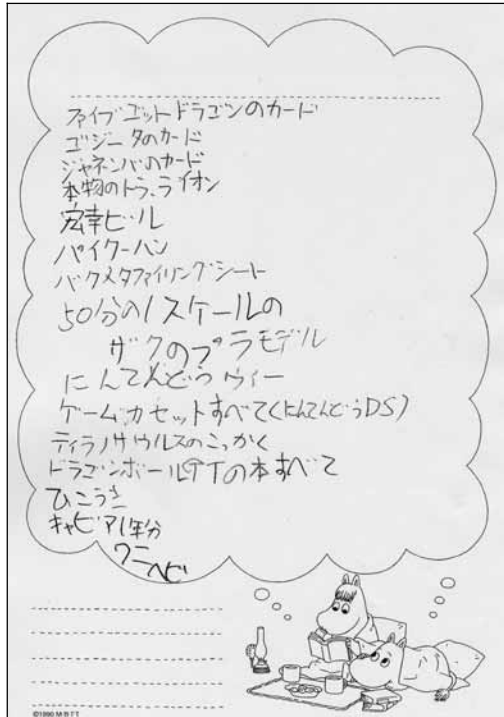
B 児 男子 お金が必要なものを得るための道具だということに気づいた。



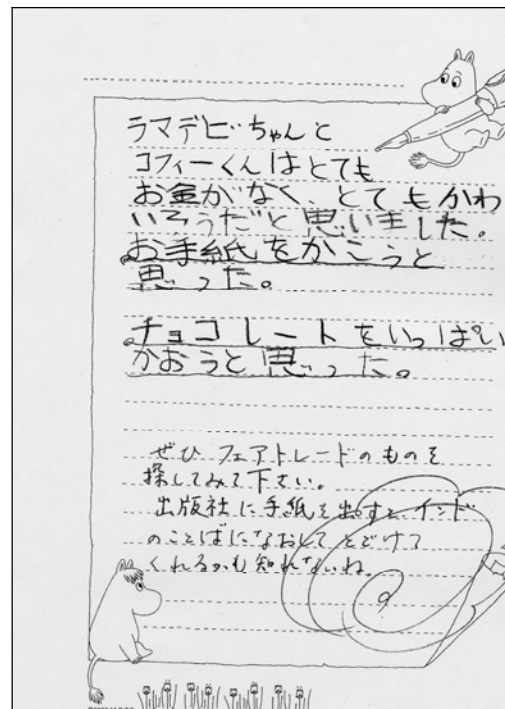
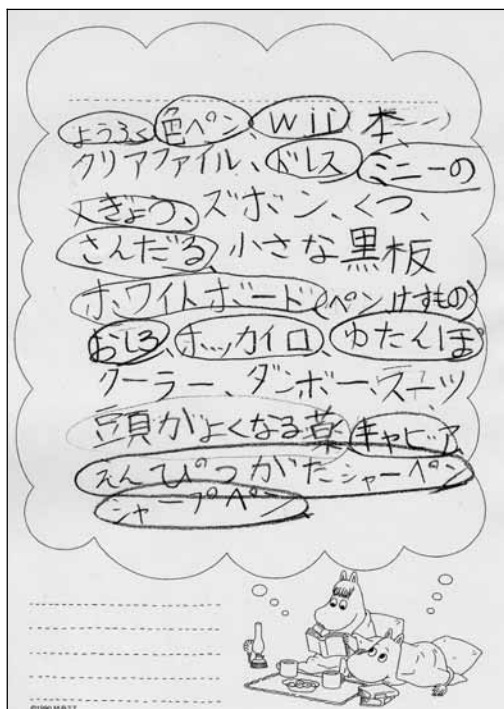
C 児 男子 エコロジーについての学習と今日の学習が結びついた子も多かった。



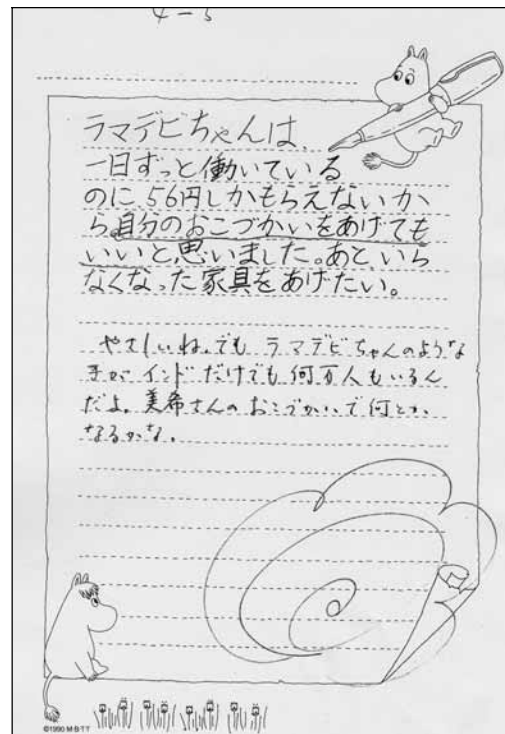
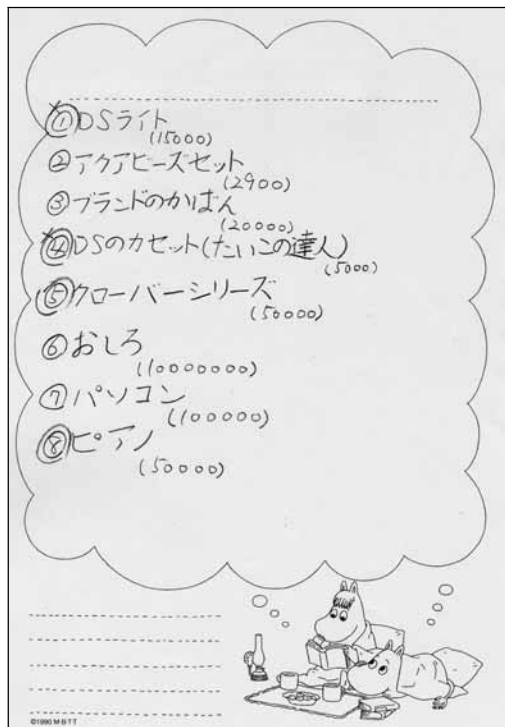
D 児 男子 欲しいものと必要なものの違いには気づいた。  
 ラマデビの暮らしを評価してはいるが、自分の  
 問題としてとらえられてはいない。同じような  
 子が男女ともに数人いた。



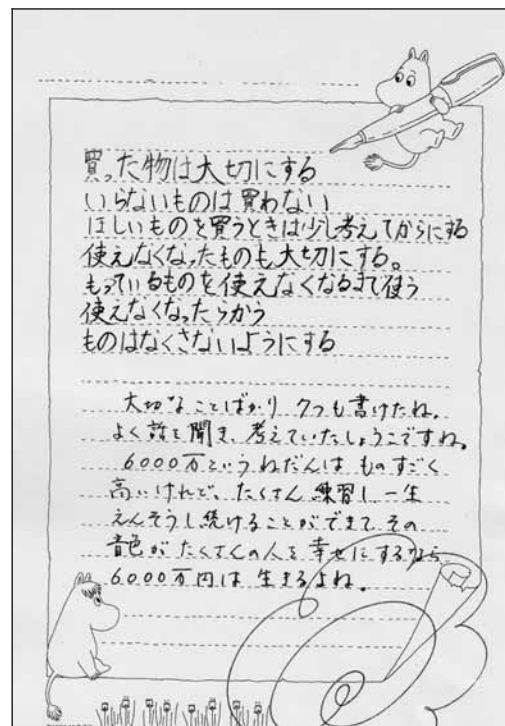
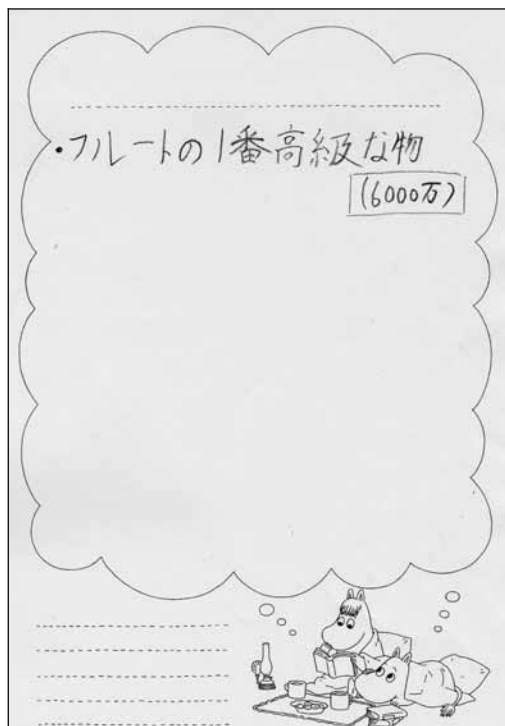
E 児 女子 欲しいものと必要なものの区別がはっきりして  
 いない。女子数人が同じような傾向だった。



F 児 女 子 同情する気持ちはあるが、自分の生活を振り返るには至らない。



G 児 男 子 欲しいものをなかなか書けなかったが、お金を生かす方法を懸命に考えて列挙した。





〔考察〕

特徴的なものを7人分取り上げた。

まずワークシートの左側だが、欲しいものが複数書けていて、丸で囲んだものが全くないか、少ししかない、A児・B児・C児・D児のような児童と、欲しいものが複数書けていて、丸で囲んだものが多数ある、E児・F児のような児童は、半数ずつくらいだった。前者が、欲しいものと必要不可欠なものの違いに何となくであれ気がついているのに対し、後者は意識化されていないように思う。また、G児のように、欲しいものがほとんど書けない児童も数人いた。いずれも男女差はなく、両親の考え方や生活の仕方など、家庭環境が大きく関わっているように思われる。

次に、ワークシートの右側だが、「生きたお金の使い方」について、今回の学習の中から何かしら学び取って、自分なりの考えが書けていたのは、欲しいものと必要なものの違いに気づいていた児童の方に多かった。1・2学期の社会や総合的な学習と結びつけて考え、A児・C児のようにリサイクルや水などの資源の使い方にふれている児童もいた。一方、欲しいものと必要なものが意識されていない児童には、E児・F児のように、貧しい子どもたちに同情の気持ちや何とかしてあげたいという気持ちはもてたものの、自分の暮らし方に結びつけて考えられない児童が目立った。もちろん、欲しいものと必要なものの違いに気づいていても、D児のように傍観者のようになってしまう児童もいれば、G児などのように左側との相関関係がはっきりしない場合もある。しかし、これらの資料から、「必要かどうか」や「どのくらい切実に必要なのか」を考えながらものを買ったり使ったりすることが、消費者生活について考えを深めていく第一歩であるということは、言えるだろうと思う。

次は、必要だと判断する前に与えられてしまうことや、欲しいけれどそれほど必要ではないのに手に入ってしまうことに対して、疑問をもてるように働きかけていく手だてを考えていかななくてはならないと思う。

#### (4) 教育委員会から

中学年になり、友人関係に左右されての、お金にかかわる気になる行動が見られることへの対処方法として、本人への指導だけでなく、道徳の授業を通して、学級全員に内面的に働きかけることも大切です。

本授業の中で資料として提示された、インドとガーナに住んでいる同年齢くらいの子どもと日本の子どもを比較した写真は、子ども達に問題を投げかけ、深く考えさせる手立てとなっていました。子どもが労働しているという現状、そして、その労働賃金の低さに子ども達は驚いていました。フェアトレードという考え方や日本の小学校でポンプの費用を送ったことなど何をするのが本当に助けることになるのか深く考えさせられる授業になっていました。

担任が4年生の時使用していた習字の道具を見せ、今でも使っていることを知らせたことは、子ども達の心に深く沁みたとおもいます。

#### (5) 消費生活センターから

本実践は、消費者教育の体系シートによると「契約・取引」領域にあたります。

本時の展開は消費者教育の視点を、「欲しい物と必要なものの区別」、「節度ある生活の大切さ」としてしています。この視点は、道徳教育の内容である、主として自分自身に関することの「節度のある生活をする」ことに含まれていると思います。

また、貧困な国の生活を紹介することで、お金の大切さに気づかせるだけではなく、社会貢献として寄付するというお金の使い方があることも知り、お金を合理的に使う必要性を感じたことと思います。これは、消費者としてお金の使い方を考える上で重要な要素となると思います。

## ・ 6 学年（家庭科・総合的な学習の時間）

単 元 名	計画的に生活しよう	
実 施 校 学年/教科等	柏市立酒井根小学校	
	6 学年	教科等：家庭科，総合的な 学習の時間
指 導 者	教諭 小磯 綾子	
総 授 業 数	6 時間	

## 1. 単元について

## (1) 設定の理由

子どもたちは、保護者や親戚の人からお小遣いやお年玉をもらう機会があり、幼い頃は銀行などに貯金をしているという者が多数いる。小学校の高学年になると、日常的に自分のお小遣いの中からほしい物を買ったり、友だちどうしでお金を持って遊びに行ったりする機会が増えてくる。その際に、必要以上の大金を持って行って無駄遣いをした経験や、友達のお金を借りてしまった経験を持っている子が少なくない。

そこで、子どもにとっては簡単に手に入ると思い込んでいるお金がどうしても大切なのか、その大切なお金をどのように使えばよいのかを考えさせる機会を持たせたいと考えた。子どもたちが一消費者として、金銭の流通に関する正しい知識を持ち、計画的に使うことができるようにしていきたいと思い、本単元を設定した。

## (2) 目標

金銭の使い方に関心を持ち、自分の生活に活かすことができる。

## 2. 指導計画（6時間）

1. 「どうしてお金は大事なの」（子ども消費者教室）・・・1
2. 「お金の使い方を考えよう」
  - ①自分の買い物について見直そう・・・・・・・・・・1
  - ②計画的な買い物について知り、計画を立てよう・・・1

3. 「物の使い方を見直そう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1  
 (本時)
- ③自分の持ち物を調べて、その使い方などを発表する  
 ④持ち物を見直し、問題点を話し合う
4. 「ものと資源との関連について考えよう」・・・・・・・・・・ 1  
 物の使い方や買い方についてこれからの生活に活かすことを考え、発表しよう
5. お金のやりくりを学ぼう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1  
 (キッザニア東京の体験を通して)

### 3. 本時

#### (1) 目標

身の回りのものの使い方を見直し、物の使い方や購入のしかたを考え、日常生活に生かす態度を育てる。

#### (2) 消費者教育の視点

- 自分の持ち物（筆入れの中身）の総額を計算する。
- 身の回りのものを買すぎてはいないか、大切に使用しているか、最後まで使いきっているか見直しをさせる。

#### (3) 展開

時配 (分)	指導内容・学習活動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備考
5	○前時の確認をする。 上手な買い物のポイント ・買う目的をもつ ・商品についての情報を集める ・買う店や買う方法を決める	・上手に買い物をするためのポイントを確認する。 ◎上手に買い物をするためのポイントを理解できたか。	各自の筆入れ
35	○本時のめあてを知る <u>物の使い方を見直そう</u> ○自分の持ち物を調べよう ①筆入れの中には何がどれだけ入っているのかな ・鉛筆、消しゴム、カラー	・自分の筆入れの中のもので、持っている数、実際に使っている数を書き出し、増えた理由	

<p>5</p>	<p>ペン、消しゴム、下敷きなど数える。</p> <p>②全部でいくらくらいかかっているのかな</p> <p>③どうしてこれだけの数が入っているのだろう</p> <p>○自分の持ち物を見直そう</p> <p>①よく使う順に分けよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よく使うもの</li> <li>・ときどき使うもの</li> <li>・ほとんど使わないもの</li> </ul> <p>②いらないものはないか考えよう</p> <p>③整理・整とんをしよう</p> <p>○まとめ</p> <p>不必要なものを増やさないための使い方、買い方を考える。</p>	<p>も考えさせる。</p> <p>■筆入れに入っているものの総額を計算し、無駄にお金を使っていないか考えさせる。</p> <p>◎身の回りの商品を買うときに、必要性を考えたことができたか。</p> <p>・それぞれのものの使用頻度をふり返り、本当に必要なものがどれだけあるのかを考えさせる。</p> <p>■身の回りのものを買ってすぎてはいないか、大切に使っているか、最後まで使いきっているか見直しをさせる。</p> <p>◎身の回りの商品を買うときに、必要性を考えたことができたか。</p>	<p>ノート</p>
----------	--	---	------------

## 4. 実践報告

### (1) 児童生徒の様子・変容

子ども消費者教室でお金の「やりくり」を知ったことで、小遣いの使い方を考えるようになってきた児童が増えてきたようである。本時の授業では、自分の持ち物を調べて、どれだけ不

必要なものを買っているか、本当に必要なものはどれなのかを考えるよい機会となった。子どもたちの言葉の中からも、「これだけあれば十分だから」と言って、いたってシンプルな筆入れを使っている者、「うわー、20本も持ってる!」「そんなに持っていたって意味ないよ」と言うほど、普段の生活ではなかなか使い切れないほどの筆記用具を持っている者もいるのが現状であった。本時の授業を通して、最後まで使い切る、ほしいと思っても我慢してあるものを使うようにするという児童が増えた。

また、お金は本来、簡単に手に入らないものであること、働いた分だけ給料としてもらい、計画的に使わないと困ることを学び、お金を大切に使うことを学べたことはとても意義のあるものだったと考える。

友だち同士で買い物に行ったり、遊びに行ったりするときに持ち出す金額や使い道を家族と一緒に相談し、自分でもよく考えて使えるようになってきているようである。

第6時には校外学習に行き、キッザニア東京で職業体験をし、給料をもらうという疑似体験をしてきた。もらったお金をやりくりし、ほしい物を買ったり銀行に貯金したりと、自分なりに大切に使うことができた。

消費者教育を実践することで、当たり前のように手に入ると思っていたお金やものは簡単には手に入らないもので、上手に利用できる消費者になっていくという意識づけができたと思う。今後も、いろいろな場面で正しい知識を生かせる消費者として生活していけるように指導していきたい。

## (2) 成果と課題

### ① 成果

- ・お金の正しい使い方、貯金の大切さを考えるよい機会になった。
- ・身の回りの無駄なものをよく見つめなおすことができた。
- ・お小遣い帳をつけて、計画的にもものを買う習慣がついてきている。

### ② 課題

- ・お金がらみのトラブルの恐さをできるだけ知る機会を持てるとよいと思う。

- ・保護者への啓発を続けていくことが大切だと感じる。

### (3) 使用教材・資料等

- ・わたしたちの家庭科
- ・柏市消費生活センター「子ども消費者教室」

資料「物の使い方を見直そう」児童ノート記入

○筆入れの中身について


- ・自分の持ち物について、持っている数・実際に使っている数を書き出して、自分の使い方について考えていることがわかる。

物の使い方を見直そう  
(私のふでばこ)

	持っている数	実際に使う数	
消しゴム	3	1	えんぴつやその他、 消しゴム、ほうぎ は、実際に使う 数より多いので、 実際に使う数 だけがいい
えんぴつ	5	3本	
シャープペン	1	1本	
ペンシル	7本	4本	
じょうぎ	2本	1本	
その他	4	0	

物の使い方を見直そう

	持っている数	実際に使う数
消しゴム	4本	1
えんぴつ	4本	1
シャープ	3本	1
ペンシル	3本	1
ペン	2本	1
(色えんぴつ)	2本	1
じょうぎ	1本	1

見ました。  


多く持っているだけ  
むだだけと友達にかいたりできるかが  
便利だと思う

物の使いかを見直そう  
(私の家でばっ)

	入ってる数	実さいに使う数
消しゴム	1こ	0
えんぴつ	3本	△
シヤーン	4こ	たまに
10こ(色えんぴつ)	20本	金曜日使う
じょうぎ	2こ	将ぎょうで

・調べてみて、似外を使わない物がある事が分かりました。  
・あまり使わない物はもーてくのをせめるようにしたいです。

○本時以外での活動

- ・消費生活センター「子ども消費者教室」



- ・キッザニア東京での体験





#### (4) 教育委員会から

本単元は、家庭科の学習を中心として、その内容を発展させた総合的な学習の時間としての単元開発がなされています。その中で、消費生活センターによる子ども消費者教室「どうしてお金は大事ななの？」や銀行勤務の方による銀行の仕組みの学習など関係機関や外部人材の活用が効果的に図られています。

また、キッザニア東京での仕事体験によって収入を得たり、支出や貯金を体験したり、より実践的・体験的な学習を重視した展開が工夫されています。

各学校でも、様々な活動を見直し、単元としてまとまりのある教育課程を工夫してみると良いのではないのでしょうか。

本時では、身の回りの物として、筆箱の中の物を取り上げたことで、児童は、不要なものを増やさないための買い方を身近な問題として考えることができました。

#### (5) 消費生活センターから

本実践は、消費者教育体系シートによると「契約・取引」領域にあたりますが、「環境」領域にも含まれると思います。

本時の展開は消費者教育の視点を、「自分の持ち物（筆入れの中身）の総額を計算する」、「身の回りのものの使い方を考えること」としています。自分の持ち物一つ一つにお金がかかっていることを認識し、どのように使うべきなのかを考えるきっかけになったと思います。自分の消費行動を振り返り、生活に生かすことは、消費者教育において重要な部分です。

また、本実践では「キッザニア東京」による、流通・生産・消費の経済活動の体験も含まれています。経済活動との関わりの中で消費者問題を学ぶことは、より合理的かつ効果的な消費者教育の方策です。

## ○「情報」領域

## ・4学年（総合的な学習の時間）

単 元 名	正しく使おうインターネット 「見たくないウェブページに出ったら…」	
実 施 校	柏市立田中小学校	
学 年 / 教 科 等	4 学 年	教科等：総合的な学習の時間
指 導 者	教諭 岩田 久美	
総 授 業 数	3 時間	

## 1. 単元について

## (1) 設定の理由

本校では、学期に1度ITアドバイザーをまねき、パソコンを活用した学習指導をしている。その内容は、低学年ではお絵かきや文字入力といった基本操作、中学年では新聞作りや学習ゲームといった学習への活用とインターネット利用の導入、高学年では調べ学習や写真の処理といった情報ツールとしての活用が主である。

本学年（4学年）の児童は、1学期に、国語でローマ字を習得した際パソコンのローマ字入力を練習した。総合的な学習の時間には、インターネット利用の導入として、検索のしかた、簡単な情報ノートの作り方を指導した。その後「わくわく生き物探検」という活動で自由にパソコンを利用させた。すると、多くの児童が、興味ある昆虫や草花について自由に検索して見たり、デジカメ映像を処理したりする目的で、パソコン室を利用した。

本学級（4年3組28名）の児童の実態を調べてみたところ、家庭でもパソコンを利用している児童が多く（25名）、その全員がインターネットを使った調べ物やゲームなどを体験している。中には「調べ物をしていると見たくないウェブページが出てきた」という経験をもつ児童が3名いた。（実態調査の詳細は資料参照）

このような実態から、現代の子どもたちにとってインターネットは欠かせない情報ツールになっていることがわかる。同時

に、インターネットを上手に利用する力を早いうちから指導する必要性を感じる。児童の発達段階を考えたとき、例えば性的なことや反社会的なことに興味を持つ時期があるのは自然なことであるが、そのようなウェブページは危険をはらんでいることがあると認識させ、自分にとって有用な情報を正しく判断し正しく選択する力をつけさせることが必要であろう。

インターネットの正しい利用の仕方、困ったときの対応の仕方を身につけさせ、情報を消費生活の向上に役立てることができる子どもを育てることを目的とし、本単元を設定した。

## (2) 目標

インターネットの正しい利用の仕方、困ったときの対応の仕方を身につけることができる。

## 2. 指導計画

正しく使おうインターネット

1. 検索のしかたを知ろう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 自分の情報ノートを作ろう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 見たくないウェブページに出合ったら・・・・・・・・・・ 1 (本時)

## 3. 本時

### (1) 目標

- インターネットを利用していると、見たくないウェブページ、見ないほうがよいウェブページに出合う可能性があることを知る。
- 見たくないウェブページに出合ってしまったときの対応の仕方を知る。

### (2) 消費者教育の視点

- ・情報通信を消費生活の向上に役立てることができる。
- ・個人情報適切に管理し、自他の権利や利益に配慮して情報通信を適切に活用できる。

(3) 展開

時配 (分)	指導内容・学習活動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備考
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータを起動する。</li> </ul> <p>1. 本時の学習内容を知る。</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     インターネットを使っているときに見たくないウェブページに出会ったら、どうしたらいいかを学ぼう。                 </div>			
10	<p>2. ウェブページを自由に見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検索エンジンを使って検索する。</li> <li>・おもしろいなと思ったウェブページを記録する。</li> <li>・おもしろかったウェブページを発表する。</li> <li>・感じ方の違いを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検索サイトの使い方を確認する。</li> <li>・紹介されたウェブページを全員に確認させる。</li> </ul> <p>■ 同じウェブページを見た感想が、人によって異なることに気づかせる。</p>	YAHOO! きっず キッズ -goo プロジ エクタ ー ワーク シート
10	<p>3. 見本のウェブページを見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのページについて、感想をもつ。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 残酷なウェブページ</li> <li>② 商売のウェブページ</li> <li>③ いやらしいウェブページ</li> </ul> </li> <li>・上記のようなウェブページを開くことは、危険がある可能性があることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見てみたいかどうか、という観点で感想をもたせる。</li> <li>・見てはいけないウェブページの例を示し、危険の可能性を知らせる。</li> </ul> <p>■ 危険そうなウェブページは開いて見てはいけないことを知らせる。</p> <p>◎ 危険そうなウェブページを具体的に知り、開いて見てはいけないことを理解できたか。</p>	教材用 見本ウ ェブペ ージ

10	<p>4. モラル教材を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見るつもりはなくても、危険なウェブページに行き着いてしまうことがあることを知る。</li> <li>・ ウェブページやメールからウイルス感染する危険性があることを知る。</li> </ul> <p>5. ITアドバイザーの話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見てはいけないウェブページにたどりつく具体例と、ウイルス感染の具体例を見せる。</li> <li>・ 無料ダウンロードの危険な例など、実際にあった話を聞かせる。</li> </ul>	教材用 情報モラル 素材
5	<p>6. 危険そうなウェブページに出合ったときにはどうするかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開いて見てはいけない。</li> <li>・ すぐにウェブページからはなれる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戻る。</li> <li>・ ブラウザ（ウェブページ）を閉じる。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ すぐ大人に相談する。</li> <li>・ それでも困ったことが発生したら、大人と一緒に専門機関に相談する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウェブページからはなれる方法を具体的に教える。</li> <li>・ 何かあったら自分だけで解決しようとしないうことを教える。</li> </ul> <p>■ 見たくないページに出合ったときの対処を理解させる。</p> <p>◎ 見たくないページに出合ったときの対応を具体的に理解し、対処することができたか。</p>	ワーク シート
5	<p>7. 本時のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まずは自分で危険を察すること、自ら興味本位で危険に近づかないことが大切であることを確認する。</li> </ul> <p>■ めあてを持って賢くインターネットを利用しようという気持ちを持たせる</p> <p>◎ これから気をつけようという気持ちが持てたか。</p>	

## 4. 実践報告

### (1) 児童生徒の様子・変容

この授業後にインターネットで調べ学習した時、児童は、これまでより慎重にウェブページを選んでおり、ふざけたりネットサーフィンしたりする児童はみられなくなった。また、学校で学んだことを家族にも伝えた児童も多かったので、家庭への啓蒙にもなったと思う。



○授業の様子

授業後に児童が書いた感想

- ・見たくないウェブページになったら、すぐに $\times$ をおさないとだめってことがよくわかった。
- ・私は、インターネットを家で何回もやっていたけど、今日習ったことは全部わかっていませんでした。
- ・インターネットにもあぶないことがあると知った。ああいうことでウイルスが入ったりすると知った。
- ・あやしいページが出てきたときのたいさく方法がわかってよかった。大きくなって役に立ったらいいな。
- ・ぼくはウイルスをはじめて知りました。ウイルスは病気でもやばいけど、コンピュータでもやばいんだな、と思いました。
- ・ほんとはとても見たいのがありました。とても注意することがわかりました。
- ・もう見たくなくなるほどこわかったので、出てきても見ないで $\times$ をおします。
- ・こんなこわいとは思ってもなく、使いたくなくなっちゃいました。
- ・これからインターネットがやりたくないって言う人がいたけど、インターネットは人にとってなくてはならないものだから、気をつけて使います。

## (2) 成果と課題

### ① 成果

今回の授業は、具体的な資料を子どもに提示したことで、インターネットにひそむ危険性をわかりやすく伝えることができたと感じる。さらに、ITアドバイザーの協力を得て実際の話聞くことで、より現実感のあるものになった。児童の感想からもわかるように、危険を身近に感じ、今後気をつけることが意識できている児童が多く、成果を感じる。



○ ITアドバイザーの話聞く様子

### ② 課題

これまでにインターネットをあまり利用していない児童にとっては、初めて知ることが多く、逆に興味を持たせてしまうことにならないかという心配がある。また、危険を知って、インターネットを利用することがこわくなってしまったという児童もいた。今後、授業と一緒にインターネットを利用しながら、安全な使い方を体得させていくことが必要である。

また、家庭での利用に危険が多いことから、児童に教えた内容を家庭に知らせて、大人が子どもと一緒にインターネットを賢く利用してもらおうよう、協力をあおぐことが必要だと感じた。

## (3) 使用教材・資料等

- ・ 事前調査の結果（資料1）
- ・ 見てはいけないウェブページの例（資料2）…  
情報モラル研修教材2005より
- ・ 体験から学ぶ情報モラル…  
情報モラル研修教材2005より
- ・ ワークシート（資料3）

資料 1 事前調査結果

パソコンやインターネットに関するアンケート

- ・実施 平成19年9月5日
- ・対象 柏市立田中小学校 第4学年3組 28名(男子14名 女子14名)

1、おうちにパソコンはありますか? ( はい25 ・ いいえ 3 )

・いいえの人、ほしいと思いますか? ( はい 2 ・ いいえ 1 )

・はいの人、自分せんようのパソコンですか?  
( はい 2 ・ いいえ23 )

2、パソコンを使うとき、おとなの人に きょかをもらいますか?  
(どれかに○)

( いつでもきょかをもらう12・インターネットやメールのときだけきょかをもらう3・いつでも自由に使う10 )

3、パソコンのメールを 使ったことはありますか?  
( はい10 ・ いいえ18 )

4、チャットやけいじ板を 使ったことはありますか?  
( はい 5 ・ いいえ23 )

5、インターネットを どんなことに利用していますか?

- ・調べ学習 10 ・総合の時間 9 ・ゲーム 8 ・オークション 3
- ・社会、新聞作り、歌を聞く、天気、ムービー、学校のHP (各2)
- ・スポーツ、テレビ、メール、ローマ字練習 (各1)

6、学校のホームページを 見たことがありますか?  
( はい17 ・ いいえ11 )

- ・「はい」の人、どれくらいのわりあいで見ますか? (どれかに○)  
( ほぼ毎日見る1 ・ 週に1度くらい2 ・  
1ヶ月に1度くらい9 ・ 1年に1度くらい5 )
- ・学校のホームページに のせてほしいことや、おねがいはありますか?

・とくになし 17

7、パソコンを使っていて、こまったことはありますか?

・見たくないページが出てきた 3 ・かたまってしまう 2

8、けいたい電話を 持っていますか? ( はい 9 ・ いいえ19 )



独立行政法人 教員研修センター  
情報モラル研修教材 2005  
授業素材 「有害サイトの例」から引用

※著作権の関係により、このページは表示できません。

独立行政法人 教員研修センター  
情報モラル研修教材 2005  
授業素材 「有害サイトの例」から引用

※著作権の関係により、このページは表示できません。

独立行政法人 教員研修センター  
情報モラル研修教材 2005  
授業素材 「有害サイトの例」から引用

※著作権の関係により、このページは表示できません。

資料3 ワークシート

正しく使おう！  
インターネット@

う組 名 藤田智也 学習した日 1/28

① 学習問題  
インターネットを使うときの注意をしよう

② おもしろい！と思ったウェブサイト

けんさくサイト	おもしろいウェブサイト	おもしろいわけ
1 ・YAHOO!きっず ・キッズ-goo		
2 ・YAHOO!きっず ・キッズ-goo		
3 ・YAHOO!きっず ・キッズ-goo		

③ 見たくないウェブページにであってしまった時、どうしたらいいのかな？  
せつたいにあげてみたり、おに☒でけす  
・大人にそらだんね。

④ 感想  
これから、かてもらったら、みんなへページをみないことになりました。

正しく使おう！  
インターネット@

う組 名 山崎 友 学習した日 1/29

① 学習問題  
インターネットを使うときの注意をしよう

② おもしろい！と思ったウェブサイト

けんさくサイト	おもしろいウェブサイト	おもしろいわけ
1 ・YAHOO!きっず ・キッズ-goo	おに、うのプロせんずのページ	出身4-49 とかが、2113
2 ・YAHOO!きっず ・キッズ-goo		
3 ・YAHOO!きっず ・キッズ-goo		

③ 見たくないウェブページにであってしまった時、どうしたらいいのかな？  
せつたいに開けてみたり、おに☒で消す  
・大人にそらだんね。

④ 感想  
おもしろいことがあつた、そのページから、おにのめいほうにはお。

正しく使おう！  
インターネット@

う組 名 大田 智也 学習した日

① 学習問題  
インターネットを使うときの注意をしよう

② おもしろい！と思ったウェブサイト

けんさくサイト	おもしろいウェブサイト	おもしろいわけ
1 ・YAHOO!きっず ・キッズ-goo		
2 ・YAHOO!きっず ・キッズ-goo		
3 ・YAHOO!きっず ・キッズ-goo		

③ 見たくないウェブページにであってしまった時、どうしたらいいのかな？  
せつたいにおいてみたり、おに☒でけす  
・大人にそらだんね。

④ 感想  
見たくないウェブページになつたらおに☒をおさないとだめ、おに☒がよくあつた。

正しく使おう！  
インターネット@

う組 名 花田 佳未 学習した日 1/29

① 学習問題  
インターネットを使うときの注意をしよう

② おもしろい！と思ったウェブサイト

けんさくサイト	おもしろいウェブサイト	おもしろいわけ
1 ・YAHOO!きっず ・キッズ-goo	おにの不思議クイズ	第一回のクイズ おにこと人間から 見たのをあつた。
2 ・YAHOO!きっず ・キッズ-goo		
3 ・YAHOO!きっず ・キッズ-goo		

③ 見たくないウェブページにであってしまった時、どうしたらいいのかな？  
せつたいに開けてみない!!  
おに☒で消す!!  
・大人に相談する!!

④ 感想  
おもしろいページをあつたときの、おに☒の方法、かわつておつた、おに☒でおに☒に立つたらいい!!

#### (4) 教育委員会から

情報モラル教育の必要性は、誰もが認めるところであります。児童の実態に応じた必要の高い授業実践となっています。インターネットによる問題点だけでなく、まずは、よさに触れています。

教材として、情報モラル研修素材『授業素材資料サンプルサイト』を活用し、子ども達の「見てみたい。」という素直な反応を受けながら、そのことへの危険性について触れています。また、『ネチケット』の情報モラル体験の検索サイト素材を各自に体験させると共に、その対処方法を明確に3つ示し、実行させています。

さらに、同サイトの電子メール素材を活用し、ウィルス被害について触れ、それについても対処方法を明確に示し、実行させています。

終末での、実際の被害状況やIT教育支援アドバイザーからの実話に耳を傾ける子ども達の姿は、真剣そのもので大変印象的でした。

#### (5) 消費生活センターから

本実践は、消費者教育体系シートによると「情報」領域にあたります。

本時の展開は消費者教育の視点を、「情報通信を消費生活の向上に役立てることができること」、「個人情報を適切に管理し、自他の権利や利益に配慮して情報通信を適切に活用できること」としています。本実践は、情報社会で適切な行動を取るための基礎的な学習です。

情報化の進展により、小学生でも携帯電話やパソコンを利用した消費者トラブルの事例があります。トラブルを回避するために情報を選択する力やモノの本質を見極める力の育成は、消費者教育の中でも重要なことです。

## ○「環境」領域

## ・5学年（家庭科）

単 元 名	わたしにできることをやってみよう	
実 施 校	柏市立柏第五小学校	
学 年 / 教 科 等	5 学年	教科等：家庭科
指 導 者	教諭 中村 智子	
総 授 業 数	2 時間	

## 1. 単元について

## (1) 設定の理由

地球環境の悪化は進行の一途をたどっているが、ごみ問題もこれに大きな影響を与えている。不要品の再利用だけにとどまらず、ちょっと考え方を变えることでごみのスリム化にもつながっていく。これから大人になる上で、少しでも意識して生活ができればという思いで設定した。食生活や買い物の場面でも、消費者の一員としての意識づけをさせたい。

## (2) 目標

- ・身の回りに目を向け、整理整とんを意識づける。
- ・不要品の多さに気づき、不要品を活用する方法を工夫する。
- ・ごみの出し方がわかり、ごみを減らす方法を工夫することができる。

## 2. 指導計画（2時間）

わたしにできることをやってみよう

- ・身のまわりを工夫して整理整とんしよう・・・1
- ・不要品の活用やごみのしまつについて考えよう・・・1

(本時)

## 3. 本時

## (1) 目標

- ・不要品を活用する方法を考え、ごみを減らす工夫をすることができる。

## (2) 消費者教育の視点

- ・ 不要品はごみになるのか、生き返るのかという観点に目を向ける。
- ・ ごみを減らすための4つのRを考える

## (3) 展開

時配 (分)	指導内容・学習活動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備考
10	<p>○身のまわりの整理整頓をして気づいたことをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ごみを減らすにはどうしたらよいだろうか。</p> </div>	<p>* 不要品や使っていない物があることを実感させる。</p> <p>■ 不要品は、捨てればごみ、回収すれば資源となることに目を向けさせる。</p>	
25	<p>○ごみを減らす方法を話し合い、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再使用する 繰り返し使ったり、不要になったら人にゆずったりする。</li> <li>・ 再生資源にする 缶や紙などはリサイクルに出す。</li> <li>・ 減らす 残飯をなくすなどごみとして出すものを減らす。</li> <li>・ 断る 必要ない物やごみになる物は買わない、もらわない。</li> </ul>	<p>■ 4つのRの観点から考えさせる。</p> <p>* リサイクルばかりに目がいきがちだが、物を大切に使うことや、過剰包装を避ける等、ごみにしない方法についても目を向けさせる。</p> <p>* リサイクルで作られた製品を使うことも大切だということを知らせる。</p> <p>* 環境や資源への配慮を示すマークについても考える。</p> <p>◎ 不要品を活用する方法や、ごみを減らす方法に</p>	ワークシート

10	<p>○ごみの出し方について考える。</p> <p>・ごみの分別の仕方を思い起こし、自分のごみの出し方を見直す。</p>	<p>ついて考えることができたか。</p> <p>*ごみの捨て方についての意識を高める。</p>	
----	--	--	--

## 4. 実践報告

### (1) 児童生徒の様子・変容

第一時の整理整とんをする前に、散らかっていて困ることを出してみた。

- ・学校に提出するプリント、課題がみつからない。
- ・読みたい本の1巻目だけがない。
- ・ゲームソフトの入れ物にゲームが入っていないくて遊べない。
- ・眠いののにベッドに物が置いてあって寝られない。
- ・服が積み重なっていて、着ようと思った服がしわくちゃ。
- ・あるのを忘れて同じ物を買ってしまった。
- ・足のふみ場がなく、転んだ。

など、いろいろな意見が出た。生活に支障があるので、これらを解決するという必然性を掲げ、学習の導入を行った。1週間ほどの期間で家の整理整とんを行うようにし、ワークシートに記入させた。その際、本時につなげるため、不用品が出たら書かせる欄を設けた。いろいろな場所の整理整とんを行い、不用品がたくさんあることに気づいて驚いたようだった。

本時では、4Rの観点からごみを減らすいろいろな方法を考えたが、子どもならではの発想に感心させられた。

<ごみを減らすためにどんな工夫をしますか>

- ・残飯を減らすために食事は残さず食べる。
- ・ティッシュがもったいないので、鼻をかまない。(かぜをひかないようがんばる)
- ・消しゴムのかすを出さないよう、字を間違えない。

- ・服は捨てないで、なるべく着続ける。
- ・広告の裏を計算用紙にする。
- ・街で配っている広告などはもらわない。
- ・レジ袋は断る。
- ・必要かどうか、よく考えて買う。

それぞれが考えたことを貼り出していくうちに、書けなかった子も自分なりにできることを考えられるようになった。

### 授業後の感想より

- ・ いらぬ物は他の用途に使えることがわかった。
- ・ 自分でもすぐにできることがたくさんあった。地球にやさしい日本にしたい。
- ・ できることをやれば少しは環境に役立つと思った。  
今まではあまり環境のことは気にしていなかったが、4 Rを守って環境を守りたい。
- ・ 4 Rをやっているようで、まだまだこれからできることが多いことに気づいた。
- ・ みんながきちんとすれば地球の寿命がのびるかもしれない。
- ・ 地球温暖化を防ぐために、自分にできることはしようと思った。
- ・ 「～すればごみを減らせるな」と思っているけど、なかなか行動にうつせないことが多かった。
- ・ 書いたことはすべて常識的なことだと思う。

前向きな感想が多かった。ごみを減らすことは、家庭のみならず、学校でも場をとらえて指導や声かけができるので、日常から意識づけをさせていきたい。また、よく考えてから物を買うようにしたいという意見もたくさん出ていた。これはお金の使い方にもつながっていくと思う。今後の変容に期待したい。

## (2) 成果と課題

### ① 成果

- ・ ごみを減らすという身近なことがテーマだったので、自分にできることを各自が見つけることができた。
- ・ 簡単なことが4 Rに結びつくことがわかり、意識づけになった。



- ・本単元のねらい通り、環境問題にも目を向けられた子が多かった。
- ・ごみを減らすことと関連して、水や電気などの資源の節約も大切だと気づいた。
- ・学習後に、ごみの出し方を話題にした家庭もあった。
- ・散らかっていて困ったことが解消された。

## ② 課題

- ・意識づけはできたものの、続けていけるかどうか難しい。
- ・環境問題との関連といった方向からの導入も考えられた。
- ・もっと家庭を巻き込んだ取り組みにしてもよかった。授業参観で行うのも一案である。

## (3) 使用教材・資料等

- ・家庭科教科書「わたしたちの家庭科」開隆堂
- ・ワークシート

本時「わたしにできることをやってみよう」

(資料1)

前時「ごみを減らすにはどうしたらよいだろうか」

(資料2)

- ・柏市ごみ分別図

資料 1 (本時)

ワークシート「わたしにできることをやってみよう」

- ・ 散らかって困ることがたくさん出てきたので、整理整頓の必然性を理解できたようだ。整理整頓後は、各自分析してどうしたら良いか考えている記述も見られる。
- ・ 整理整頓することによって、「気持ちが良い」「使いやすい」ことに気づいている。
- ・ 不用品をワークシートに書き出したことで、不用品の多さに改めて実感することができているようだった。

わたしにできることをやってみよう

名前(若井 摩理奈)

身のまわりをくふうして整理・整頓しよう。

場所	やったこと・くふうしたこと	不用品
机の上	机の上のものを箱に入れて整理した。机の上はスッキリとした。机の上のものを箱に入れて整理した。机の上はスッキリとした。	紙類、文房具、その他
机の下	机の下にゴミを捨てた。机の下はスッキリとした。机の下にゴミを捨てた。机の下はスッキリとした。	紙類、文房具、その他
机の周り	机の周りにゴミを捨てた。机の周りはスッキリとした。机の周りにゴミを捨てた。机の周りはスッキリとした。	紙類、文房具、その他

整理・整頓をしてみて気づいたこと

・机の上がスッキリして気持ちいい。整理整頓したことで、机の上がスッキリして気持ちいい。整理整頓したことで、机の上がスッキリして気持ちいい。

・机の下がスッキリして気持ちいい。整理整頓したことで、机の下がスッキリして気持ちいい。整理整頓したことで、机の下がスッキリして気持ちいい。

・机の周りがスッキリして気持ちいい。整理整頓したことで、机の周りがスッキリして気持ちいい。整理整頓したことで、机の周りがスッキリして気持ちいい。

わたしにできることをやってみよう

名前(関口 真稀)

身のまわりをくふうして整理・整頓しよう。

場所	やったこと・くふうしたこと	不用品
机の上	机の上のものを箱に入れて整理した。机の上はスッキリとした。机の上のものを箱に入れて整理した。机の上はスッキリとした。	紙類、文房具、その他
机の下	机の下にゴミを捨てた。机の下はスッキリとした。机の下にゴミを捨てた。机の下はスッキリとした。	紙類、文房具、その他
机の周り	机の周りにゴミを捨てた。机の周りはスッキリとした。机の周りにゴミを捨てた。机の周りはスッキリとした。	紙類、文房具、その他

整理・整頓をしてみて気づいたこと

整理整頓して、机の上がスッキリして気持ちいい。整理整頓して、机の上がスッキリして気持ちいい。整理整頓して、机の上がスッキリして気持ちいい。

机の上のものを箱に入れて整理した。机の上はスッキリとした。机の上のものを箱に入れて整理した。机の上はスッキリとした。

机の下にゴミを捨てた。机の下はスッキリとした。机の下にゴミを捨てた。机の下はスッキリとした。

机の周りにゴミを捨てた。机の周りはスッキリとした。机の周りにゴミを捨てた。机の周りはスッキリとした。

資料 2 (前時)

ワークシート「ごみを減らすにはどうしたらよいだろうか」

- ・ ごみを減らす工夫はわかっているが、実際にそれをしようとする意欲、勇気呼び起こし実行????? ではないかと感じられた。例えば、「レジ袋をもらわない」とした児童はたくさんいたが、実際にはマイバックを持っていかず、レジ袋をもらったりしている。
- ・ 環境面に目を向けている児童も多く、その意識は高いと思われる。

ごみをへらすにはどうしたらよいだろうか。

ごみを少なくするために気をつけていることを書いてみよう。

4R	家庭でやっていること	これからできそうなこと
断る	スーパーで、レジ袋ももらって貰わないレジ袋をいれられるかごがあったらそこに捨てる。	スーパーなどのお店でおかしを買ったときに、ビニール袋に入れたらほかの買った物も一緒に入れて、おかしを買ったビニール袋に入れた物と一緒の袋のふくすに入れて捨てる。
再使用	私が着ていた服で、きれいにならなくて、妹が着る服をあげている。おまごからで、1とまのペットボトルの水を水と水をいれ替えて飲んだらいい。TIP: TIP!!	私が使わなくなった物や、服などをあげる。
へらす	食べ残しをへらすために、作る量をへらしたりしている。	ごはんをたくさん食べたり、残さないようにする。
再生	きょうにやうパークを使って、ほかの物を作ったりしている。	ノートがなくなったら、再生紙を使ったノートを買う。

気がついたことを書いてみよう。

いらぬ小物がある。ほかの物にかえてつたり、売してでもごみをへらすようにできることがあったら、それを実行することでごみをへらす。ほかにも生活したりする物にかえてつたりすることができるかも知れない。  
知恵と工夫も必要ですね。

ごみを出す時に気をつけていることを書いてみよう。

ペットボトルをすてたりするときに、キャップをはずしてからすてている。まんがなどをすてるときは、かさねて、ひもをしばってからすてている。ペットボトルは水やジュースを入れてすてている。カッパやうぶの入れ物などは、あらってからすてる。ごみをすてるときは、おちてこないようにおく。ごみをすてるは、ごみ出しの日にその種類のごみをすてる。前日は出す人などいるから大切!!

ごみをへらすにはどうしたらよいだろうか。

名前( )

ごみを少なくするために気をつけていることを書いてみよう。

4R	家庭でやっていること	これからできそうなこと
断る	スーパーなどに行く時は、ほしいものを紙に書いて、買わないけしを買わないようにしている。	駅前などでしている広告が必要なもの以外はもらわない。おかしやジュースを買ったときは、ふくすももらわない。
再使用	ジュースの時は1番使った紙のうらぶ。広告のうらなどに書く。1冊のジュースのうらなどは、食べ残したものを、次の日に食べる。	広告のうらのうらぶを新聞紙に使う。いじかき木や、洋服をきれいに洗って、毎週3本牛乳をたんでいすけおき、かたをすすす。
へらす	なすをすてて食べる。レジふくすはあたらすてす。	食べ物はきれいに食べる。
再生	ジュースのビンやペットボトルをまた使う。	きれいなたうで手すけパックや、体やうらふくすを作る。

気がついたことを書いてみよう。

山や川や、おもしろいことをすてたけ、地球の10年後ではなから100年後までおもしろいことはない。自分でできることをたてて、おもしろいことをすてた。地球を大切にすることもつながる。

ごみを出す時に気をつけていることを書いてみよう。

ペットボトル。キャップはいつも清潔なたうで入れ、水をこぼさないようにキャップをはずして捨てる。自転車などを乗る時は、ビニール紙を、7、持っていたら、おちないようにしている。生ごみは、おちたふくす以外にスーパーなどで買ってきたおかしやジュースなどのおかしやジュースは、ビニール袋のふくすと中の紙をたけてすてる。大切!!

#### (4) 教育委員会から

授業の導入で、家庭科の整理・整とんを通して気付いたことを取り上げ、日常生活の実態から学習課題を設定しています。家庭生活を児童が改めて見直したり実感したりすることによって、自分の生活の中から課題を見出したり、解決したりしようとすることは大切なことです。

終末に行った、今後、実際に取り入れていきたいと考えたことを短冊に書くという活動は、学び合いを通して気付いたことを活かしながら、実践への意欲を高めていました。また、この短冊は、日常生活の中で、実際に実践できたかを振り返る時にも活かすことができるものです。

家庭科の目標に、「日常生活に必要な知識と技能を身に付け、家族の一員として生活を工夫しようとする実践的な態度を育てる。」ともあるように、日常生活と結びつけ、実践できるようにしていくことが大切です。

#### (5) 消費生活センターから

本実践は、消費者教育の体系シートによると「環境」領域にあたりますが、「契約・取引」領域にも含まれる部分があります。

本時の展開は消費者教育の視点を、「不用品の活用」、「ごみを減らすための4Rを考えること」としてしています。自分の消費行動が環境に与える影響を考え、環境に配慮した生活を心掛けることは、持続可能な社会を目指す消費者教育の重要な部分です。

児童の中には、商品を購入するときに、ごみの削減を考えた商品の選択が必要だと感じていた児童もみられました。このように、商品の購入、使用、廃棄を一連で考えることも消費者教育では重要なことです。

## (2) 中学校における授業展開

### ○「契約・取引」領域

#### ・3学年（家庭科）

単 元 名	私たちの消費生活と環境	
実 施 校	柏市立富勢中学校	
学 年 / 教 科 等	3 学年	教科等：家庭科
指 導 者	教諭 横山 礼子	
総 授 業 数	7 時間	

## 1. 単元について

### (1) 設定の理由

現代は、多様な商品を手軽に手に入れることができる。そこで、中学生も消費者として適切な選択や購入・活用ができる力を育てることが大切である。自分や家族の生活の仕方を振り返りながら消費のあり方について考えたり、消費者としての自覚ある行動に学び、自分の生活に活かす実践的な力を育てたい。また、消費が環境に与える影響について知識・理解を深め、環境に配慮した消費生活が工夫できる力を育てることも、環境問題が世界的な問題になっている現在、次世代を担う中学生にとって大切であると考えた。

情報化の進展に対応して、多様化している販売方法についての知識・理解を深め、それぞれの販売方法の利点と問題点について考えたり、特に中学生に利用の増えている通信販売のトラブルや解決方法を事例を通して体験的に学び、適切な方法で情報を収集・整理し購入やトラブル解決ができるようにさせたい。

選択・購入にあたっては、価格や利便性のみではなく、本当に必要なものかどうかを判断したり、環境に影響を与えている自分の消費生活を振り返り、環境に配慮して判断し購入する実践的な態度を養うことを目標として設定した。

### (2) 目標

- ・商品と流通の基本的事項を確認する。
- ・多くの情報から自分の意志にあった商品を選択する条件などを理解させる。

- ・店舗販売と無店舗販売の利点と問題点を考えさせる。
- ・支払いの特徴について理解させる。
- ・販売のトラブルや解決方法を理解し、クーリング・オフ制度や消費者契約法について知らせ、消費者の基本的な権利がわかるようにする。
- ・実践的・体験的な学習を通して消費者としての自覚を高めさせる。
- ・環境を考えて毎日の生活を送ることが重要であることに気づかせる。
- ・生活者として環境保護の視点に立った行動がとれる実践力を養う。

## 2. 指導計画（5時間）

商品の選択と購入（4時間）

- ①選ぶときの条件を考えてみよう・・・・・・・・・・1時間（本時）
- ②販売方法と支払い方法を調べてみよう・・・・1時間
- ③トラブルを解決しよう・・・・・・・・・・1時間
- ④消費者を守るしくみを知ろう・・・・・・・・・・1時間

消費生活と環境（1時間）

- ①環境への影響を考えてみよう・・・・・・・・・・0.5時間
- ②暮らし方を見直そう・・・・・・・・・・0.5時間

## 3. 本時

### （1）目標

- ・商品を選択・購入するときのポイントを考えさせ、自分の消費行動に感心を持たせる。
- ・売る側の立場になって広告を考え、今後の商品購入に生かすことができるようにする。

### （2）消費者教育の視点

- ・自分の消費行動を振り返らせ、商品選択のポイントについて考えさせる。
- ・商品の選択に役立つ表示やマークを理解させる。

### (3) 展開

時配 (分)	指導内容・学習活動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点◎評価)	備考
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品選びのポイントを理解し、表示・マーク・生活情報を商品選びの手がかりにすることを学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自分の消費行動をふり返らせ、商品選びのポイントを把握させる</li> <li>■表示・生活情報・マークの役割に気づかせる。</li> <li>◎ノートに気が付いたことをまとめられたか</li> </ul>	ノート
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの商品を購入したときの成功例や失敗例をまとめ、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■具体例をあげてまとめ発表させ、関心を高める</li> <li>■購入前のチェック項目の流れを確認する。</li> <li>◎自分の考えを発表できたか</li> </ul>	発表
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>広告にはどのような効果があるか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■食料品の広告を数種類用意し、それぞれの利点と問題点を考えさせる。</li> <li>◎ノートにまとめ、発表できたか</li> </ul>	広告 挙手 発表
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品を消費者に購入してもらうための広告を自分でつくってみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■機能の違うボールペンからひとつ選び、広告をつくらせる。</li> <li>◎自分で考えた広告が作れたか</li> <li>■いろいろな情報を参考にすることを確認する</li> </ul>	白紙  3種類 のボールペン
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>売る側、買う側の考えを理解し、商品購入に活かせるようにする。</li> </ul>		

## 4. 実践報告

### (1) 児童生徒の様子・変容

全体的に興味を持って取り組んでいた。自分たちが商品を購入したときの失敗や、情報をどのようにして収集しているかなどは、活発な意見が出された。

また、身近な新聞の折り込み広告を数種類提示し、買う側としてどれを選ぶか、逆に自分が売る側になったらどれにするかを選ばせ意見を発表させると、買う側と売る側とで選ぶ広告が違うというということを理解していたようである。

自分で広告を作るという作業では、絵を書いたり、色鉛筆を使ったり、キャッチフレーズを考えたりと意欲的に取り組んでいた。

### (2) 成果と課題

#### ① 成果

商品を購入することは金額の問題だけでなく、後悔しないためにいろいろな情報を集め、よく考え選ぶということが理解できた。

また、売る側と買う側では考えが違うことも理解でき、毎日当たり前のように入ってくる広告などもよく見るようにしたいという意見も聞かれた。

#### ② 課題

いろいろな情報が氾濫しているので、適切な情報をどのように選んだらいいのか、また、売る側に悪意がある場合の対応の仕方などをどのように教えていくか考える必要がある。

### (3) 使用教材・資料等

- ・ノート
- ・比較のためのスーパーの広告（資料1）
- ・広告作成の対象にしたボールペン3種類（資料2）
- ・生徒が作成したボールペンの広告（資料3）



### 資料1 比較のためのスーパーの広告

① 写真を使用しカラフルなもの



② 1色刷りで数字にインパクトがあるもの



### 資料2 広告作成の対象にしたボールペン（3種類）

・以下A B Cの3種類の中から1つを選び広告を作成した。



A : 100円・ノック式・フックつき・黒ボールペン

B : 120円・ノック式・クリップつき・黒ボールペン

C : 100円・キャップつきの黒ボールペン

### 資料3 生徒が作成したボールペンの広告（①～⑥）

生徒たちには、広告作成にあたって①金額の提示、②買う人が選んでくれるコメントをいれる、③色をつけてもよいということ伝えて作成させた。

金額表示の仕方や色の使い方などが工夫されていた。「本日も大特価」「店長のオススメ」など消費者の心理をついたような広告が作成された。中には、②のように広告の対象者を特定し、対象者が関心ありそうな部分を強調している生徒がいた。また、⑥のように使い方の説明をしたり、フリーダイヤルを書いたりする生徒もいた。

生徒たちは普段から広告などをよく見ていることがわかった。

①

本日人気商品

# 大特価

ロック式  
カラーペン(黒)

1本 ¥ **100**

持ちやす  
グリップ

②

使いやすさ  
徹底解剖

198円!  
200円はいかに

事務仕事  
は  
これ1本で!!

使ってみたら分かります。  
この軽さ!!!  
日本一、いや、世界一  
色は人気の

VIVI カラー

おもむき...  
グリップ

③

# 超激安

機能性充実。

書きやすさを追求

売れ切れ御免

驚きのprice

100大得価

④

# NEWスタイル 登場!!

ジャーペン)

このグリップは  
使った人が「ワザ」  
わかる  
超フィット。  
形状!

なんと、今だけ!  
販売記念価格で

100円!

カラー: ピンク  
ブラック・グリーン

⑤

# NEWスタイル 登場!!

ジャーペン)

このグリップは  
使った人が「ワザ」  
わかる  
超フィット。  
形状!

なんと、今だけ!  
販売記念価格で

100円!

カラー: ピンク  
ブラック・グリーン

⑥

超便利

120円

1本

極細

※ 79円は販売価格  
※ 120円は販売価格

#### (4) 教育委員会から

日常生活の中で、商品を購入した時の失敗例を取り入れたり、実際に商品を購入する時に活かせるような学習内容を工夫したりと、実践的な態度の育成が図られています。

本授業では、具体的に身近な食料品の広告を数種類提示し、買う側と売る側の両方の立場になって考えさせています。多くの情報の中から適切な情報を収集・整理し、選択できるようにするために広告を取り上げたことは、生徒にとって身近な事例であり、大変効果的です。

また、機能の違うボールペンの中から一つ選び、その広告を作るという活動を通して、売る側の立場に立って見るという経験をすることで、より買う側の立場になった時の情報選択について考えることができるよう工夫されています。

#### (5) 消費生活センターから

本実践は、消費者教育体系シートによると「契約・取引」、「環境」の2領域にあたります。

本時の展開は消費者教育の視点を、「自分の消費行動を振り返り、商品選択のポイントを考えること」、「表示やマークを理解すること」としています。生徒に広告作りを通して生産者と消費者の両面から考えさせています。生産者の立場についても考えることは、情報を取捨選択して、積極的に活用できる能力の育成も期待できます。消費生活を多方面から考えることは、消費者教育には重要なことです。

## ・ 3 学年（社会）

単 元 名	消費者の権利と保護	
実 施 校	柏市立田中中学校	
学 年 / 教 科 等	3 学年	教科等：社会
指 導 者	教諭 須田 光明	
総 授 業 数	4 時間	

## 1. 単元について

## (1) 設定の理由

中学校学習指導要領－社会編－の公民的分野において、「国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深めるとともに、社会の諸問題に注目させ、自ら考えようとする態度を育てる」（目標（2））とあり、具体的には、「身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させる」（内容（2）ア）ことになっている。経済活動は、一般的に個人や社会が必要とする商品やサービスを生産し、これらを消費することで生活を成り立たせている人間の活動である。そのため、生徒の将来の生活の維持向上のために、身近な経済生活である消費を中心に理解させなければならない。

消費社会と呼ばれる現代は、無数の商品が大量に消費されている。そして、消費者主権であるにも関わらず、流行に流され、企業のPRにつられて購入する受け身の消費者となる傾向が見られる。そのため、消費に対しては、自分の正しい意思と判断が大切となるのだが、年々、クレジットカードやキャッシュカードによる自己破産の件数や、悪質商法の被害の件数などは増加の傾向にある。また、悪質商法に関しては手口も巧妙であり、悪質なものになってきている。

以上のことから本単元では、生徒自ら具体的な悪質商法の事例をロールプレイングすることを通して身近に感じ取り、消費者としての権利・保護や消費者を取り巻く問題点、行政側の対応等に関心を持たせ、理解させたいと考えている。そして、これが、将来の生徒の生活の向上とより良い社会の発展にいかさ

れることを願い、本単元を設定した。

## (2) 目標

- ロールプレイングを通して、消費者を取り巻く諸問題や、消費者の権利・保護について関心を持つ。
- 悪質商法について理解し、それにあわないための対策やあった時の対応について考える。
- ロールプレイングを通して、悪質商法の種類や内容について、他の人にわかりやすいように発表する。
- 消費者としての権利・保護に関わる諸事象について理解する。

## 2. 指導計画 (4 時間)

時配 (時間)	指導過程	指導のポイント・留意点	評価
1	基本的事象の理解	現在の消費者を取り巻く社会の状況（消費者主権・クレジットカード・消費者の権利・PL法）を一斉指導を通して理解し、諸問題について把握する。（特に悪質商法を焦点化する）	社会的事象についての知識・理解
2	課題設定 課題解決	小集団（4人程度）に分かれ、自分たちが担当する悪質商法の内容を理解し、発表に備えての準備（シナリオ、小道具、補助資料等の準備）をする。 －考えられる悪質商法の例－ ・マルチ商法・ねずみ講・キャッチセールス・かたり商法・点検商法・現物まがい法・アポイントメントセールス商法・催眠商法・パーティー商法・内職商法・靈感商法 など	社会的事象への関心・意欲・態度  社会的な思考・判断 資料活用 の技能・表現

1	発表 (本時)	各グループの発表を行う。その際 具体例だけでなくその対策・対応 についても明らかにする。それら を基にして、標語を作る。	社会的事象 への関心・意 欲・態度 資料活用の 技能・表現 社会的事象 についての 知識・理解
---	------------	---	--

### 3. 本時

#### (1) 目標

- ロールプレイングを通して、悪質商法の種類や内容について、他の人にわかりやすく発表する。
- 発表を聞くことを通して、悪質商法について知り得た事柄を整理、理解し、自分の考えをまとめる。

#### (2) 消費者教育の視点

悪質商法の具体例や、被害に遭わないようにするための対応・対策について考え、まとめさせることにより、望ましい経済活動の姿を理解させ、将来、生徒が賢い消費者として消費生活の維持・向上の糧となるようにする。

#### (3) 展開

時配 (分)	指導内容・学習活動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備考
導入 3	○ 本時の活動の確認 「ロールプレイングで発表しよう。」 ・ 悪質商法には、どのようなものがあるか。また、その対策、対応はどうすればよいか  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">悪徳商法に遭わないためには？</div>	・ 確認程度で、深入りしない ・ 座席はコの字型に設定しておく。	

<p>展開 37</p>	<p>○小集団グループのロールプレイングによる悪質商法の具体例の発表</p> <p>—発表した商法—</p> <p>現物まがい、催眠、アポイントメントセールス、靈感、点検、キャッチセールス、かたり、ネガティブオプション</p> <p>・具体例について役を分担し自作のシナリオで演じる。</p> <p>・発表の中で、それに遭わないための対策を説明する。</p> <p>・聞き手は、それぞれの特徴や対策についてまとめる。</p> <p>○最後のグループは、悪質商法に遭ってしまったら、どのように対応するかを発表する。</p>	<p>・前時までに完成させたシナリオを基に発表させる。</p> <p>■聞き手に具体的な内容や対策をわかりやすいように発表する。</p> <p>◎理解してもらうことを意識して発表することができたか。</p> <p>■聞き手は、わかった内容を自分の言葉でまとめる。</p> <p>◎聞いた内容を、自分の言葉で整理してまとめることができきたか。</p> <p>・特に、クーリングオフに注目するように助言する。</p>	<p>発表用 ワーク シート</p> <p>記録用 ワーク シート</p>
<p>終末 10</p>	<p>○学習のまとめ</p> <p>・記入したワークシートを再確認し、悪質商法遭わないための標語をつくる。</p>	<p>・まとめたワークシートをもとに、まわりと相談しながら自由な雰囲気考えさせる。</p> <p>■消費者として望ましい姿を考えながら、標語をつくる。</p> <p>◎発表を聞いて知り得た知識を基に、自分の言葉で標語をつくることができたか。</p>	<p>標語用 ワーク シート</p>

## 4. 実践報告

### (1) 児童生徒の様子・変容

○表現の方法をロールプレイングとしたこと、また、グループを4人程度の小集団としたことで、一人ひとりの役割が明確化し、責任感や使命感を持って意欲的に調べ・シナリオ作り・発表に取り組んでいた。

資料

・ 灵感商法のロールプレイング



・ キャッチセールスの  
ロールプレイング



・ メモを取りながら発表を  
聞いている様子



○最後の標語作りでは、日頃あまり学習に積極的でない生徒も、熱心に考えていた。

— 生徒による標語（一部） —

- ・ 大切に 信じることも 疑うことも
- ・ 良い話 聞かない 買わない 信じない
- ・ 本当ですかその話 巧みな言葉にのっちゃだめ
- ・ よく考えて そんなに甘い話ある？
- ・ 信じるな！ 考えてから 行動を
- ・ 落ち着いて 被害にあったら まず相談



- ・「やっちゃった」 気づいたときは もう遅い
- ・狙ってる 「私は平気」 その心
- ・いい話 ほんとにそれは いい話？
- ・悪質商法 だまされたなら すぐクーリングオフ
- ・はっきりと 断る勇気 必要です
- ・自分自身で 考えて買おう 良い商品

## (2) 成果と課題

### ① 成果

- ・あまり生徒にとって直接的に馴染みがない内容ではあったが賢い消費者になるために、消費者の立場に立ってという意識を強く持たせたことにより、主体的に課題に臨むことができた。
- ・最後に標語を作ったが、自分のイメージを文章化することでより悪質商法に対してのイメージが深まったと思う。

### ② 課題

- ・一つ一つの発表に対し、中身をもっと十分に吟味する必要があった。ワークシートに記録するだけでなく、お互いにディスカッションする場面があると、自分の考えを広げることでもできたと思う。
- ・生徒に、正確な知識を伝えるためには、各グループがシナリオを構想・制作している場面でのきめの細かいチェックや支援が不可欠である。

## (3) 使用教材・資料等

- ・『消費生活センターHP』（かしわシティネット）
- ・『クーリングオフ・ネット』  
(エクステージ総合法務事務所)
- ・ワークシート
  - 発表用（資料1）
  - 記録用（資料2）
  - 標語用（資料3）



資料 2 記録用ワークシート

公民教室 「悪質商法に遭わないためには？」記録用紙

悪質商法の名称： <u>かたり商法</u>	発表グループ： <u>5</u>	わかりやすさ度： A <u>(F)</u> C D E
わかったこと 語られて「安い」などと言われて、思わず買ってはう。 語りの内容はうそ。		
遭わないためには？ 語られても聞き流す。		

悪質商法の名称： <u>キイチセールス</u>	発表グループ： <u>8</u>	わかりやすさ度： A <u>(B)</u> C D E
わかったこと 歩いてるときに「アサヒに答えてくれたら試供品をあげる」と言われ、 イヤなら...と思いついて、「この商品が安くねえ」と言われ、買わされる。		
遭わないためには？ 町で声をかけられたら聞き流す。		

悪質商法の名称： <u>靈感商法</u>	発表グループ： <u>9</u>	わかりやすさ度： A <u>(B)</u> C D E
わかったこと 先祖の霊が見える...とかうそをついて 仙薬、フクロなどを売られる。		
遭わないためには？ よい師に誘われたら怪しいと思ひ、しつこくても逃げる。		

悪質商法の名称： <u>100円商法</u>	発表グループ： <u>7</u>	わかりやすさ度： A B <u>(D)</u> C E
わかったこと 100円 (人がたかぶるおまじない) などを紹介して買え		
遭わないためには？ 商品は値段に合っているか考える。 買って 知人にすすめられたからといって信じない方がよい。 7-11:ゾウ。		

悪質商法の名称： <u>マルチ(まがい)商品</u>	発表グループ： <u>4</u>	わかりやすさ度： A B C <u>(D)</u> E
わかったこと アルバイトをすすめられる。 商品もろるアルバイト。←ありがたい商品をか、てからバイト。 もろらない。		
遭わないためには？ 甘い誘いにのらない。 友人にすすめられたら考える。		

悪質商法の名称： <u>点検商法</u>	発表グループ： <u>9</u>	わかりやすさ度： A <u>(B)</u> C D E
わかったこと 勝手に家の中に「点検」と勝手に入ってきて、しつこく高額なものを 売りつける。 業者もよそよそし高額な商品を買わせる。		
遭わないためには？ 本当に必要か考えて相談に行くこと。 近所の店に		

公民教室 「悪質商法に遭わないためには？」記録用紙

1 悪質商法の名称： <u>現物まがい</u>	発表グループ： <u>8グループ</u>	わかりやすさ度： A B <u>(C)</u> D E
わかったこと 難しいことをバラバラ言って困らせる。 実際には現物を渡さない!!		
遭わないためには？ 困っても断って来物に付き合わない。 専門の事務所と相談し、 支払った分だけ現金してもらう(預め)。		

2 悪質商法の名称： <u>さいはん商法</u>	発表グループ： <u>1グループ</u>	わかりやすさ度： <u>(A)</u> B C D E
わかったこと 最初にいろいろ無料で配って、人々を興奮状態にせしめて、 最後に高いものを売りつける。		
遭わないためには？ 多量に高いものはない! 低価格のようにするのが大切。		

3 悪質商法の名称： <u>アポイントメント商法</u>	発表グループ： <u>9</u>	わかりやすさ度： <u>(A)</u> B C D E
わかったこと 電話でアポイントメントとしてどこかで待たせて、 高額な商品を口々に売って行く。		
遭わないためには？ 電話はかき(かかれない)。		

4 悪質商法の名称： <u>靈感商法</u>	発表グループ： <u>9</u>	わかりやすさ度： <u>(A)</u> B C D E
わかったこと 不安を煽り商品をこくに買うさせる。 お金の心配は心配しなさい...		
遭わないためには？ お金の心配は心配しなさい!! お金の心配は心配しなさい!!		

5 悪質商法の名称： <u>点検商法</u>	発表グループ： <u>9</u>	わかりやすさ度： <u>(A)</u> B C D E
わかったこと 点検として家の点検をし、 お金の心配(お金の心配)をいって、工事するからといって高額なお金を請求する。 工事してから金額を言う。		
遭わないためには？ 信頼できる業者に依頼し、点検しては、相対点検が必要か確認		

6 悪質商法の名称： <u>キャッチセールス</u>	発表グループ： <u>9グループ</u>	わかりやすさ度： <u>(A)</u> B C D E
わかったこと 「無料でお金をもらって帰るから帰る」といって誘われて、 それを見て高いものを売りつける(やるべきでない)		
遭わないためには？ 無料、お金の心配は心配しなさい!! お金の心配は心配しなさい!!		

資料 3 標語用ワークシート

「悪質商法に遭わないための標語をつくろう」

標語  
よく考えて そんなに甘い 勧誘?

解説  
無料ているものを配って、人々を興奮状態にさせておいて高額商品を売るという商法など、甘い商法は自分の利益の損失につながる可能性がある。しっかりと自分で判断し、自分の健康を守る所人に相談したりして適切な対応をしよう。

「悪質商法に遭わないための標語をつくろう」

標語  
本当ですかその話、  
丁寧な言葉にのっけてはだめ

解説  
キャンセルや「かたり術」等は言葉にのせられて遠ざかるから気を付けるという意味

「悪質商法に遭わないための標語をつくろう」

標語  
は、まじと 断る勇気 必要だ

解説  
あまのこを断る事をするのではなく、はまじ自分の意志を表示し、断る必要があるということです。

「悪質商法に遭わないための標語をつくろう」

標語  
悪質商法にだまされては、クワンがオツてきいひん。

解説  
悪質商法にだまされては、クワンがオツてきいひん。

「悪質商法に遭わないための標語をつくろう」

標語  
「や、ちった」 気がいい人には もう遅い

解説  
怪しいと感じた場合は、速に断るべき。

「悪質商法に遭わないための標語をつくろう」

標語  
落ちついて 被害にみ、たす まず相談

解説  
まず被害にみ、たす 消費者センターに行くって相談すること。一人で解決しようと思わないこと。

「悪質商法に遭わないための標語をつくろう」

標語  
言うべきは た、たー号 「いいえせん」  
、断る 早く断る、という ことだ

解説  
何となくあやしい、気味悪い、いやな感じがしたら、一言「いいえせん」と言って断る。  
自分の健康、お金のことをしっかりと守るべき。

「悪質商法に遭わないための標語をつくろう」

標語  
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩  
「か」 「し」 「こ」 「は」 「し」 「よ」 「さ」 「ひ」 「し」 「あ」  
「か」 「し」 「こ」 「は」 「し」 「よ」 「さ」 「ひ」 「し」 「あ」

解説  
悪質商法にあわてたためにはまず自分から  
気がついてお断る「ならいいので」「か、いい消費者」に  
なることであわてないようにする。

「悪質商法に遭わないための標語をつくろう」

標語  
見抜いてね  
甘いマスクの  
小悪魔を

---

解説  
お顔を見て近づいてきて、信じてとずる人を  
自分の目で見抜いてね。

「悪質商法に遭わないための標語をつくろう」

標語  
大切に  
信じることも  
疑うことも

---

解説  
人を信じることも大切だけど、  
本当に信じて大丈夫なのかと  
疑うこともすごく大切で、こういう気持ち  
持っていれば悪質商法かどうかもしっかり見極める  
ことができると思う。

「悪質商法に遭わないための標語をつくろう」

標語  
知りぬ人  
話にのるな  
危険だよ

---

解説  
知らない人の話にのると「契約」ない  
危険な事が周りにたくさんある  
と言う事。

「悪質商法に遭わないための標語をつくろう」

標語  
「信じるな！  
考えてから行動を！」

---

解説  
その辺で声をかけられたり、うそのじらほうを  
教えられても信じてしまってすぐに物を買お  
ないでよく考えればお金のことでよく考えて  
決断を出す。

「悪質商法に遭わないための標語をつくろう」

標語  
いい話  
聞かない 買わない 信じてない

---

解説  
いい話ほど危ないモノ、あつほど信じてはならないという  
はたひのだから、どんな商法でも必ずいい話はかりな  
悪質  
相手に「いいのが一番」といふ意味です...

#### (4) 教育委員会から

公民的分野におけるこの単元は、まさしく消費者教育に関わる内容であり、どの学校でも扱われる学習内容です。この授業では、悪質商法の事例をロールプレイングを通して、消費者としての権利や保護、また、消費者を取り巻く問題点や行政側の対応等に関心を持たせ、理解させていくという方法をとったことが、生徒にとって身近なこととして実感でき、生活の向上に役立つ実践となっています。各グループごとに、対処方法や契約とはどういうことなのかを考えさせる場面が設定され、日常生活に具体的に活かされるように工夫されています。

終末に取り入れた標語づくりは、学習のまとめとして効果的です。自分達のためでなく、消費生活センターに活用してもらったり地域に広めたりという設定がされると、さらに学習意欲が高まることと思います。

#### (5) 消費生活センターから

本実践は、消費者教育体系シートによると「契約・取引」領域にあたります。

本時の展開は消費者教育の視点を、悪質商法に関する学習を通して、望ましい経済活動の姿を理解させ、将来生徒が賢い消費者として消費生活の維持・向上の糧となるようにするとしています。生徒自身が悪質商法のロールプレイングのシナリオを考え、演じることは、消費者トラブル発生の本質を考える上で効果的な学習です。

社会科〔公民的分野〕の内容である「国民生活と経済」は、経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、消費者保護など消費者教育と深く関係している部分が大いといえます。

### (3) 高等学校における授業展開

#### ○「契約・取引」領域

##### ・1学年（家庭科）

単 元 名	消費行動を考える (消費者として自立する)	
実 施 校	柏市立柏高等学校	
学 年 / 教 科 等	1 学年	教科等：家庭総合
指 導 者	教諭 細谷 淑子	
総 授 業 数	7 時間	

## 1. 単元について

### (1) 設定の理由

消費者生活センターには「お金を借りて返せない。どうしたらよいか」など、借金に関する相談が多く寄せられており、多重債務が社会問題になっている。

このような現代社会の消費者は、消費生活に関する必要な知識を習得する機会や情報収集後の取捨選択など、自主的かつ合理的に行動することが求められている。生徒達には消費者として責任ある行動ができ、経済的に自立した生活を目指す能力を身につけさせたいと感じ、設定した。

### (2) 目標

消費行動において、意思決定のプロセスとその重要性について理解する。契約、多様な販売方法や支払い方法、問題商法について認識できるようにする。また、被害にあった場合の解決方法を認識し、対処できるようにする。

消費者の権利と責任について理解し、消費において主体的に判断し責任をもって行動できるようにする。また、家庭の収入や支出、予算生活の重要性について認識する。最終的には生活設計と関わらせて、長期の経済設計の必要性について理解する。

## 2. 指導計画（7時間）

1. 毎日が消費行動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間
2. 契約社会と消費者＋VTR・・・・・・・・・・・・ 3 時間

(本時 2 / 3)

3. 消費者の権利とこれからの消費者・・・1時間

4. 経済的に自立する・・・・・・・・・・・・・・2時間

### 3. 本時

#### (1) 目標

- 問題商法の特徴とトラブルにあったときの対処方法を理解する。
- 消費者信用の仕組みを知り、利用する際の留意点を知る。
- 金利の計算ができる。

#### (2) 消費者教育の視点

- 現金払いとカード払いの違いを確認し、理解することができる。
- 借りたなら返す方法を考えて返済計画と計算を学ぶ。
- 生活設計を考え、多重債務に陥らない自立した生活を目指す。

#### (3) 展開

時配 (分)	指導内容・学習活動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備考
20	<p>2. 契約社会と消費者</p> <p>3 支払い方法の多様化と消費者信用</p> <p>(1) 消費者信用と仕組みについて確認する。</p> <p>(2) クレジットの仕組みをまとめる。(ワークシート)</p> <p>(3) カードの特徴と用途を知り、自分や家族が持っているカードの分類をする。</p>	<p>■ 消費者信用を確認し、販売信用(クレジット)と消費者金融(ローン)の違いを理解する。</p> <p>■ 三者間契約の仕組みを確認し、クレジットカードの入会申込書を記入しながら信用売買であることを理解する。</p> <p>◎ 二者間契約の場合で確認</p> <p>■ カードの利用方法を確認する。プリペイト、キャッシュ、ローン(キャッシング)、クレジット、デビット</p>	<p>クレジットカードのパンフレットを利用</p> <p>*前払い *後払い *即時払い</p>



<p>1 0</p> <p>2 0</p>	<p>(4) クレジットカードを利用して支払いする場合の返済方法を学ぶ。</p> <p>(5) クレジットカードを利用する際のメリットとデメリットについて学ぶ。</p> <p>(6) 多重債務急増の背景は何か設問する。</p> <p>(7) 多重債務に陥った場合を紹介する。</p> <p>(8) まとめ 本時のまとめ、次回の予告</p>	<p>◎ 自分の持っているカードもしくは、知っているカード名で分類の確認</p> <p>◎ ワークノート</p> <p>■ アドオン方式と残債方式を紹介し、計算方法を学ぶ。</p> <p>◎ 年利率の計算方法</p> <p>■ 借金の総額、毎月の支払額を把握する必要性を理解する。</p> <p>◎ お金に流されない消費を生活に生かせる</p> <p>■ クレジットカードを持ったときの注意点を理解する。</p> <p>◎ ワークノート</p> <p>■ カード使用時の注意点や返済金額と利息の関係など原因を理解する。</p> <p>◎ 消費者の自立に求められていることを行動に移せる</p> <p>■ 多重債務に陥った場合の解決法と自己破産による影響を理解する。</p> <p>◎ 収入支出のバランスから家計を管理できる力</p> <p>◎ ワークノート</p>	<p>リボルビング払い</p> <p>出資法 利息制限法</p> <p>新聞記事等</p>
-----------------------	---	--	---

## 4. 実践報告

### (1) 児童生徒の様子・変容

- 身近なプリペイドカードやポイントカードに対する利用方法は十分に把握できているが、キャッシュカードやクレジットカードについては利用していないため想像の世界になっている生徒が多数おり、認知度は低かった。
- 現代社会においては、生徒自身が数種類のカードを所有し利用しているが、支払方法の異なるカードの違いやセキュリティ一面での安全性など認識不足にもかかわらず日常生活に溶け込むように使われている点が不安に感じた。
- クレジットカードを所有している生徒はおらず、カード発行の話からはじめたが、個人情報満載の信用調査が行われてから発行されるカードと理解できた。



○授業の様子

- クレジットカード1枚だけでも支払方法が多数あることを確認できた。



### (2) 成果と課題

#### ① 成果

- クレジットカードの支払いは手数料によってクレジット会社が利益をあげているため、分割やリボ払いで購入すると商品の代金よりもより多くの金額を支払わなければならないことが理解できた。
- リボ払いの支払方法は家計管理が重要であり、特に毎月の支払い金額や残金確認は必要である。生活設計するためにも収入と支出のバランスを考えた利用方法が重要と理解できた。
- リボ払いの場合、計算や確認表作成は手間がかかり、難しいと感じた生徒が多いので、利用は検討すべきと慎重になれたようだ。

## ② 課題

- 支払方法の異なるカードの違いやセキュリティー面での安全性など、認識不足でも日常生活に使われているだけにカードについてはさらに認識・理解を深める必要性を感じた。
- 授業展開としては多重債務に陥りやすい場合の1つとして、家計のバランスを崩したクレジットカードの使用方法、支払い方法が原因と伝えたく、盛りだくさんの計画になってしまった。  
また、現金以外の支払いを利用する機会が増えるので、その利用方法を確実に把握し、認識を深めさせたかったので、予定時間外ではあるが金融庁HP（約20分追加）を紹介することにした。授業時間がほしいところではあるが、限られているので、来年度は授業展開の選別を検討したい。

## (3) 使用教材・資料等

- ・ 教科書：「新家庭総合」実教出版
- ・ VTR「油断大敵！悪質商法」日本消費者金融協会
- ・ ワークノート「ライフスタディ家庭総合」実教出版

(資料1)

資料1・ワークノート (P104,105)

※著作権の関係により、表示できません。

出典：「ライフスタディ家庭総合」実教出版

#### (4) 教育委員会から

小・中学校のみならず、高等学校の実践例が紹介されるということは、消費者教育にかかわる内容が系統的に分かり、大変意義あることだと考えます。

本授業では、クレジットカードの仕組みについて具体的に説明がされ、わかりやすい授業内容になっていました。また、各返済方法について実際に計算をしてみるという活動を取り入れたことは、支払額が多くなることを実感できる大変効果的な方法となっていました。

さらに、近年、問題が急増している多重債務の状況やその解決方法と自己破産の影響等、現代の消費生活の課題や対処方法について具体的に取り上げ、消費者として主体的に判断し、責任を持って行動ができるよう、実践的な態度の育成を目指した学習展開がなされています。

まさしく、消費生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実と向上を図る能力と実践的な態度を育てるという学習内容になっています。

#### (5) 消費生活センターから

本実践は、消費者教育体系シートによると「契約・取引」領域にあたります。

本時の展開は消費者教育の視点を、「支払い方法の違いを理解する」、「借りたお金の返済方法と返済計画と利子の計算を知ること」、「生活設計を考え、自立した生活を目指すこと」としています。クレジットカードを利用した場合、返済するときの利子について計算してみることで具体的に理解できたと思います。計算して数字を見て実感することは、必要なことだと思います。

カード社会が進む現在、高校生の段階では、契約学習として、カードの仕組みやカードを巡るトラブルなどの教育は重要です。

### 3. 柏市消費生活センター 「子ども消費者教室」

## 子どもの金銭教育

子どもの時の消費態度は大人になってもあまり変わらないものです。子どものころから安易な好奇心や目先の欲望によって衝動的にお金を使っていると、大人になってもその癖は直りません。

消費生活センターには、商品やサービスの契約に関わる相談が絶たず、悪質的な商法の手口は巧妙かつ複雑になっています。

また、インターネットの発達により、子どもがトラブルの当事者となるケースが多くなっています。

柏市消費生活センターではこのような状況に憂慮し、消費生活の基礎となるお金の扱い方を子どもの早い時期から伝える必要性を感じ、平成17年度から「子ども消費者教室」を始め、小学生向けの金銭教育を行っています。

豊かなモノに囲まれ育っている現代の児童は、モノやお金を大切にするという金銭感覚が育ちにくい環境にあるといえます。このような状況の中で、お小遣いを使い始めるこの時期に、限られたお金を計画的に使う態度を養うため、「どうしてお金は大事なの？」をテーマに金銭教育授業を行っています。

## マネーノートの発行

「どうしてお金は大事なの？」の授業用教材として、平成19年9月に「マナブーのマネーノート」（お小遣い帳）を作成しました。

このノートの内容は、まず、欲しい物を書き出してみる。次に、それが本当に欲しいのか「今の気持ち」を確かめること。そして、売っている店で値段を比較し、最終的に「買う」「諦める」「買うために貯金をする」のいずれかを自分で判断する構成になっています。

このように、モノを一つ買うことでも、衝動的に買わずによく考えてから計画的に買うことを学ぶことができる教材です。



○「マネーのマネーノート」書き方見本のページ

### 書き方見本のページ

4月  
 買物予定はあるかな？書き出してみよう!!  
 おばあちゃんたんじょう日があるので  
 プレゼント代200円  
 ノート ゲームソフト  
 シール

今月は何月か書こう。  
 今月の予定  
 値段を比べたりして  
 考えよう。

ほしいもの	今の気持ち	売っている店	値段	判断
1 ゲームソフト	A 絶対ほしい B ほしい C あればうれしい	新品店	3,000円	A 買う B ちよ金して買う C あきらめる
		中古店	1,500円	C あきらめる
2 シール	A 絶対ほしい B ほしい C あればうれしい	D店	200円	A 買う B ちよ金して買う C あきらめる
		E店	100円	C あきらめる
3 ノート	A 絶対ほしい B ほしい C あればうれしい	F店	150円	A 買う B ちよ金して買う C あきらめる
		B店	130円	C あきらめる

ほしいものを書き出して  
考えてみよう。  
 本当にほしいかどうか  
よく考えてみよう。  
 決めたところに  
○をつけよう!

**おもちゃ屋 E店**  
 千葉県柏市〇〇123-4  
 TEL 04-71 〇〇-〇〇〇〇  
 ○年〇月〇日  
 シール ￥100  
 合計 ￥100  
 (内消費税等) (¥5)  
 お預り ￥100  
 おお 〇0

**ぶんぼうぐ B店**  
 千葉県柏市〇〇567-8  
 TEL 04-71 〇〇-〇〇〇〇  
 ○年〇月〇日  
 ノート 1冊 ￥130  
 合計 ￥130  
 (内消費税等) (¥5)  
 お預り ￥200  
 おお ￥70

買ったもの  
レシートをはろう!

- 3 -

お金の出入りを書こう。

日	こと	入ったお金	使ったお金	残ったお金	感想など
				前月の残り → 0円	
1日	おこづかい	500円		500円	
1日	ちよ金		50円	450円	ちよ金ばこ
3日	シール		100円	350円	♡
4日	ノート		130円	220円	
10日	ぼ金		10円	210円	もうどう犬ぼ金
15日	おばあちゃんへプレゼント		200円	10円	◎
日					
日					
日					
日					
日					
日					
日					
日					
日					
日					
日					
日					
日					
日					
日					
日					
日					

やりくり上手はまずちよ金!  
ちよ金がいくらたまったら  
「1年間のまとめ」のページに書けるよ。

メモや今の気持ちを書こう。

10円 今月残ったお金を書こう。

前月の残り  
0円

+ 入ったお金の合計  
500円

- 使ったお金の合計  
490円

= 今月の残り  
10円

1年間のまとめ(29ページ)に書いてね。

おうちのひとから一言

マネーシールをはろう!  
1ヶ月が終わったらマネーシールをはろう!

計画的にお金を使えね。がんばりましたね。

計算が終わったら、お家の人へ書いてもらおう。

毎月最後に行おう。  
きりり線にそって切り絵に色をぬり30ページにはろう。

- 4 -

<マネーノート：授業での活用方法>

金銭教育はまず、子どもたちにお金に関心を持たせることからスタートです。自分のお金がどこから入って、何に使ったのかを考えることは、書き留めることで成功します。

お金を使えばなくなってしまう単純なことから始めて、次第に使い方を工夫しようとする気持ちが生まれてくるはず。計画性が育まれることを期待しています。特に中・高学年では、お小遣いの収支バランスを考えながらお金を上手にやりくりすることを期待しています。

<マネーノート：家庭での活用方法>

子どものお金の価値観や使い方を学ぶ「場」は家庭です。金銭教育授業をきっかけに、マネーノートを使って家庭生活の中で実践を継続していくことが大切です。毎月末には親子で反省ができるように親のコメント欄と評価シールがついています。

また、お金にまつわることわざの意味を調べるコーナーや塗り絵を切り取りキャラクターの部屋をつくるお楽しみページもあります。

## 授業を受けた子ども感想

短い授業の中からも児童たちが多くのことを汲み取っている様子が見えます。

<1年生>

おこづかいをむだにしない  
ということがわかってよか  
たとおもいます。おこづか  
いたちのあつめたおこづか  
いをわがまわしてなんでもか  
てもかてたかぶあかねをた  
せつにしながらとあいました。

お金のつかい方とか  
おたづかいをしては  
いけないとかよくわか  
りました。これからは  
ちぎんをけりした  
いです。

今日おこづかいをうけて、もち  
ろ今までもお金は大  
事だと思っていたけど、お金を  
かせいできてくれるお  
父さんいろいろな物を買っ  
てくれるお母さんに感謝した  
い。

カトリヌひめは、お金  
をむだづかいをして  
てむだづかいをしな  
いほうがいいという  
ことがわかりまし  
た。

お金のつかい方がわか  
ら、えいがかたのしかたであ  
たのしかった。おこづかい  
ちぎんをこれからつけるよう  
にする。

わたしは、もしかしたら、お金をむだ  
に使っていたかもしれないと思  
いました。それより考えなおして、(お金  
が本当に大事なんだな...)と思  
いました。その思いのままど  
んどん大人になって、お金を大  
事にする大人になりたいです。



- ・お金はまた使いをするとあとがなくなることがわかり、お金は大事
- ・おばあちゃんなどが<sup>お金</sup>くれる理由がよくわかりよかったです。
- ・これから、しょうらいを考えてお金を大事にしていまます。
- ・楽しく、たし、勉強になりました。おこづかい帳も

- ・けさがおもしろかった。
- ・お金の使い方を自分なりに
- ・工夫しようと思った。
- ・お金の大切さをあすれないようにしようと思います。

- ・「お金」のことについて、「何が大切か」ということが良くわかりました。中学生になると、おこづかいが増えるので「やりくり」をがんばって、お金を上手に貯金できるように努めたいです。

- ・マンガをみてはるかにうらやまを感じた。
- ・お金はちゃんと使いたかった。
- ・て、そのようなことがよくわかった。
- ・おこづかい帳も長なことも、もらって、おこづかい帳もつづいていきました。

- ・ありとメリキツのお金バージョンのように、メリキツのよう、小じもみたいに感ほうをかせえられたいのは、ため。
- ・ありの貯金はとても感ほうしたし、先を見とあしていきなと思った。

- ・計画的にお金を使いたいと、後がたいなと聞いてわかった。後でどうなるかわからないのに、お金を使うのは、危険なもので、おこづかい帳もつづいていきました。
- ・おこづかい帳をつけて貯金しては金の使い方を工夫していきたいと思います。

## 教員の感想

### < 高学年 >

- ・「お金を借りる」という体験のない子どもたちでもわかりやすい内容だった。
- ・今までにない視点からお金について考えることができた。
- ・金銭の大切さと買い物の難しさを問うことができた。
- ・児童参加や劇を取り入れるなどの工夫が感じられた。
- ・お金、携帯電話など身近な題材がわかりやすく、漠然とした知識が確かなものになった。

### < 中学年 >

- ・普段の学級活動ではなかなか踏み込めない部分まで指導できた。
- ・家庭へのプリントが充実していた。
- ・小遣い帳のつけ方の実技がよかった。
- ・お金には限りがあることがわかり、お小遣いに対する意識が高まった。

### < 低学年 >

- ・子どもたちがお金について、その使い方を見直す機会になった。
- ・子どもたちが今後のお金の使い方や節約の意識が持てた。

## 添付資料

- 平成19年度 子ども消費者教室 [実績]
- 学習指導案
- ワークシート

## 平成19年度 子ども消費者教室

No.	月日	団体名	内 容 (テーマ)	学年	人数	実施団体
1	6.22	手賀東小学校	どうしてお金は大事なの？	6	22	柏市消費生活センター
2	6.23	田中北小学校	どうしてお金は大事なの？	3・4	32	柏市消費生活センター
3	6.23	田中北小学校	どうしてお金は大事なの？	5・6	35	柏市消費生活センター
4	6.28	酒井根小学校	どうしてお金は大事なの？	6	113	柏市消費生活センター
5	7.6	高柳西小学校	どうしてお金は大事なの？	6	69	柏市消費生活センター
6	8.7	新田原地区子ども会	知ってる！砂糖のこと	1～6	33	柏市消費者の会
7	8.24	永楽台こどもルーム	知ってる！砂糖のこと	1～6	20	柏市消費者の会
8	11.14	田中小学校	どうしてお金は大事なの？	4	27	柏市消費生活センター
9	11.14	田中小学校	どうしてお金は大事なの？	4	28	柏市消費生活センター
10	11.14	田中小学校	どうしてお金は大事なの？	4	28	柏市消費生活センター
11	11.27	第四小学校	どうしてお金は大事なの？	6	33	柏市消費生活センター
12	11.27	第四小学校	どうしてお金は大事なの？	6	35	柏市消費生活センター
13	12.14	旭東小学校	どうしてお金は大事なの？	6	67	柏市消費生活センター
14	1.11	第二小学校	どうしてお金は大事なの？	6	150	柏市消費生活センター
15	2.4	高柳西小学校	どうしてお金は大事なの？	3	92	柏市消費生活センター
					計	784 名

「どうしてお金は大事なの？」(45分)

ねらい:①ものやお金を大切に使う気持ちを持つ

②欲しいものを買ってもらうとき、または自分でお金を使うときに気をつけることができる

指導内容	学習内容	時間	教材
・授業目的を伝える (お金って何だろう)	・〇×クイズ ・家のお金について (お金はうちの人の労働によって得ることができ、限りのある大切なもの)	5	ボード
<b>●「ホシガリ姫の冒険」を見て考えよう!</b>			
①ビデオ視聴 ある国に、わがまま放題のお姫様がいた。ある日、新しい洋服が欲しくなり買い物に出かけた。お姫様は、欲しいものをすべて買い、持っていったお金を全部使ってしまった。しばらくすると、買ったものは飽きて倉庫に入れる。倉庫はまだ新しい洋服やおもちゃでいっぱいになっている。おもちゃ達が話しているところに魔法使いのおばさんが現れて、魔法をかける。		15	ビデオ
・ビデオの内容の確認  ○どうしてカトリーヌは魔法をかけられてお城を追い出されたのか考えさせる  まとめ	・カトリーヌはどんなものを買ってもらっていたか ・買ってもらったものは、その後どうなっていたか (予想される児童の回答) ・我慢しないで欲しいものをたくさん買っていた。 ・無駄遣いしていた ・すぐに飽きて倉庫にしまっていた ○お金は限りがあり、使えば使うほどなくなることを知る ○欲しいものがたくさんある場合は、買うか買わないかよく考えること、時には我慢する必要があることを知る。 ○ものを大切にすることは、お金を大切にすることにつながることを知る		
②ビデオ視聴 魔法をかけられてお城から追い出されたお姫様は、ある家に拾われました。そこで、ものを大切にすること、働いてお金を得ること、もらったお金をいっぺんに使わないこと、お金を貯めてプレゼントをすること、お金を大切に使うことを学び、お城に帰ることができました。		20	
・ビデオの内容の確認 ○お金の使い方についてカトリーヌはどんなことを学んだか考えさせる  まとめ  (ビデオのまとめ) ○カトリーヌはどのようにしてお城に戻れたのか考えさせる	・初めてのお小遣いをカトリーヌはどのように遣ったか (予想される児童の回答) ・もらったお金をいっぺんに使わないこと ・お金を稼ぐのは大変なこと ・お金を貯めること ・貯めたお金でプレゼントをする ○お金はすぐ遣ってしまえば、次に買いたいものがあったとしても買うことができないことを知る ○目標を持って、お金を貯めることを知る ○高いものでもお金を貯めることによって買うことができることを知る ○自分のお金で誰かにプレゼントするという使い方もあることを知る  ・お金を手に入れることの大変さがわかって、お金を大切に使うことができたようになった ○将来困らないように、ものやお金を大切に使うことを知る		
<b>●授業のまとめ</b>			
○ものを大事にすること  ○お小遣い帳	・各学級の落とし物の実情を担当の先生より聞く  ・お小遣い帳を使うと、お金を大切に使うことができること知る	5	お小遣い帳 配布

■児童(宿題・小遣い帳・感想シート) ■ビデオ教材「ホシガリ姫の冒険」(金融広報中央委員会)

■配布資料(「お金の上手な使い方」「お金の役割って何だろう」・保護者向け)

「どうしてお金は大事なの？」(45分)

- ねらい:①お金は有限であり、生活にはたくさんのお金が必要であることを理解し、どう工夫するか考えることができる  
 ②お金をやりくりし、お小遣い帳をつけてお金を管理する意味がわかる  
 ③自分の大切なお金の使い方を考えることができる

指導内容	学習内容	時間	教材
・授業目的を伝える (お金って何だろう)	・お年玉やお小遣い、買ったもの、使い道などについて ・お金の役割について	5	
<b>●うちのお金を考えよう!</b>			
・うちのお金はどこからくるのか確認させる  ・収入と支出と貯蓄を考えさせる  ・暮らしの中でたくさん使われているお金について考えさせる  ・収支のバランス、“やりくり”の意味を伝える  ・みんなが協力できることを考えさせる	○宿題を通して、うちのお金はどこからくるのか確認する ・お金は労働によって得られるもので、おうちの人への感謝の気持ちを持つ  ○入ってくるお金と出て行くお金、貯めるお金について知る  ○宿題を通して、家の中にはたくさんのお金がかかっていることを確認する。  ○生活するうえでたくさんのお金が必要になることに気づく ・お金を工夫して使うこと ・やりくりという言葉の意味を知る  ○お金を大切に使うために、自分たちができることを考え、発表する ・電気、水など節約をすること ・ノートや鉛筆など、ものを大切に使うこと。	10	※宿題 パワーポイント  ※宿題
<b>●お金の上手な使い方を考えよう!</b>			
・ロールプレイングからお金の使い方考えさせる	「定期的にお小遣いをもらおうとしたらどう使う？」 A: 買い物大好き、すぐ使っちゃうタイプ B: 貯金が趣味、なかなか使えないタイプ C: お小遣い帳をつけ計画的にお金を使うタイプ	15	ロールプレイ 児童3人
○登場人物について気づいたこと  (ロールプレイングのまとめ)  ・工夫して使うことはどういうことか考えさせる  ・お小遣い帳を書いてみよう  ・小遣い帳の活用を伝える	(予想される児童の回答) ・Aは無駄遣いしている。お金はいくらでもあると思っている。 ・Bは貯金ばかりしているけれど、貯金ばかりではつまらない ・Cは、買いたいものも買って、貯金もしているなんてすごい。 ・Cは、お小遣い帳をつけて、計画性がある。 ○自分のお金はどのように使ったらよいか考える。 ・やりくりについて理解する。  ○どう工夫すればよいか知る。 ・欲しいものに順番、買う目標、計画を立てる。 ・衝動的な買い物は我慢する、またはやめる。 ・目標のために貯金する。 ・お小遣い帳を使って、自分のお金を管理する。  ○例題を元にお小遣い帳を記入する  ○お小遣い帳からわかることを知る ・お金を上手に使うための基本(お金の出入りを知る) ・何に使ったか、今いくらあるのか、貯金はいくらか ・計画を立ててお金を使うこと	10	児童発表  小遣い帳配布  例題 ホワイトボード
<b>●授業のまとめ</b>			
(今日のポイント) ①お金は限りがあるので大切に使う ②お金を上手に使うために、お小遣い帳をつけることが役に立つ ③みんながもらうお小遣いにはおうちの人「お金が上手に使えるようになって欲しい」という願いがこめられている		5	

## 「どうしてお金は大事なの？」(60分)

- ねらい: ①お金は有限であることを知り、今あるお金の使い方を考えることができる  
 ②お金をやりくりし、お小遣い帳をつけてお金を管理する必要性を理解できる  
 ③お金の価値について考え、いろいろな使い方があることがわかる

指導内容	学習内容	時間	教材
・授業目的を伝える	・なぜお金について学ぶのか	5	
<b>●「アリとキリギリス」の寸劇からお金について考える</b>		20	
<p>同じ職場で働くアリとキリギリス。アリは海外旅行のために給料をコツコツ貯金している。一方、キリギリスは先のことなど考えず、お給料をもらおうとすぐ使ってしまう。</p> <p>アリはついに貯金が目標額を達成し、海外旅行に行くことになる。その話を聞いたキリギリスは自分も行きたくなるが、手持のお金がない。そこで、たまたま目に入った消費者金融からお金を借りて旅行に行くことになる。</p> <p>旅行から帰ってくると、キリギリスには請求書が届く・・・</p>			
<b>○劇をみて考えよう</b> ・先生と児童による話し合い  (予想される児童の意見)	<b>○キリギリスのようにならないためにはどうしたら良いか、また、お金を借りないようにするためにはどうしたらよいか考え、発表する</b> ・アリのように貯金をする ・無駄遣いをしない ・もらったお金は全部使わない ・旅行を我慢すればよい ・買いたいものを我慢すればいい ・必要でないものは買わない ・買う前に安くなってから買う ・買いたいものの情報をよく調べてから買う ・使うお金と使わないお金を分けておく ・お小遣い帳をつけて計画的に使う		
<b>●お金について知ろう</b>			
<b>○お金を借りるとどうなるの</b> (劇をもとにキリギリスの借りた30万円を例題にして考えさせる)  ・お金を借りないためにはどうするか (事前のアンケートをもとに児童の意見を発表する) <b>○お金のたまるコツ</b>  (予想される児童の意見)	<b>○お金を借りたときにつく利子(利息)を知る</b> ・借りた30万円の利子をつけた返済額 ・借りた30万円を月1万円ずつ返済した場合の返済額 <b>○お金を借りることは大変であることを知る</b>  <b>○「やりくり」の意味とその方法を知る</b>  <b>○収入と支出の語句を確認し、貯金はどのようにすればよいか考えて発表する</b> ・収入－支出＝貯金 <b>○収入－貯金＝支出</b> ・先にいくら貯金をするのか決めることが大切、貯金して残ったお金を工夫して使うことが大切なことを知る <b>○お金を管理するためのお小遣い帳の役割を知る</b>	10	パワーポイント
<b>○後から払うお金</b> (携帯電話を例に後から払うお金について説明する)	<b>○後から払うお金(見えないお金)の管理の必要性を知る</b>	5	パワーポイント
<b>○お金の価値</b> (「世界を変えるお金の使い方」山本良一編を例に出してクイズ形式で説明する)	<b>○100円の価値について考える</b> ・何気なく使っている100円でできることを知り、使い方を考える	5	パワーポイント
<b>●授業のまとめ</b>		5	
<b>お金を上手にやりくりしよう</b> ①お金の使い方を工夫する ②貯金する ③お小遣い帳をつける			

《あり子ときり太 月に1回、500円をもらったら...》

## お金のやりくりを学ぼう!

### その1 お金の使い方を考える!

① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_  
③ \_\_\_\_\_ ④ \_\_\_\_\_

### その2 お金を上手に貯金する!

上手に貯金する方法とは?

□ - □ = □

### その3 おこづかい帳をつける!

限りあるお金を大切に上手に使うために、おこづかい帳をつけて、○○○○することが大切!

\*おうちの方も、お金の使い方について話し合いながらすすめていくと、もっと上手におこづかい帳がつけられるようになります。

柏市消費生活センター 子ども消費者教室「どうしてお金は大事なの?」(中学年ワークシート)

(1) あり子ときり太はお金を大切に使えたかな?  
2人のお金の使い方について、良いと思うこと、良くないと思うことを書いてください。  
(自分の意見にはない、ともだちの意見も書いておこう)  
◎良いと思うこと ◎良くないと思うこと

ワークシート①

自分のお金をだいたい使ってしまう方法を考えよう

1. あり子ときり太のおこづかい  
おこづかいは月に1度もらっている2人。おこづかいは500円。ほしいものがたくさんあるそうですね。さて、2人はどのようにおこづかいを使っているのでしょうか?

2. お金を大切に使うための3つのこと

① ほしいものを買うまえに、「買う」か ( ) するか考えよう。  
② ほしいものを買ったり、将来のために ( ) もしよう。  
③ お金をだいたい使うために、 ( ) をつけよう。

柏市消費生活センター  
「どうしてお金は大事なの?」